

静岡県御前崎市

文化財年報 XX

令和5年度



2024

御前崎市教育委員会

表紙写真

御前崎市指定有形文化財「大日寺の大日如来坐像」

静岡県御前崎市

文化財年報 XX

令和 5 年度

2024

御前崎市教育委員会

序 文

御前崎市は、広大な遠州灘を望む浜岡砂丘、数多くのウミガメが訪れる御前崎海岸、お茶の産地で有名な牧ノ原台地、白亜の灯台など、豊かな自然や風光明媚な環境に恵まれています。

また、縄文時代早期前半の異形局部磨製石器（トロトロ石器）が出土した西原遺跡をはじめ、戦国時代の城館にいたるまで100箇所以上の様々な遺跡があります。さらに、古くからの信仰形態を残す桜ヶ池のお櫃納めなどの無形民俗文化財や庶民の厚い信仰によって永く守られてきた仏像や石仏などの有形文化財を各所に見ることができます。

文化財保護行政の役割は、このような先人達が守ってきた自然環境や歴史的文化遺産を保護・保存して後世に伝えていくとともに、より多くの方が当時の文化や歴史に触れ、その多様な価値によって豊かな生活を享受できるよう、それらの公開や活用を図っていくことです。そこで令和5年度も下記のように文化財保護事業を行いました。

つきましては、文化財の所有者や管理者、地域の方々をはじめとした市民の皆様の御理解、御協力に感謝し、今後もより一層の御支援をお願い申し上げます。

以下、令和5年度に実施した文化財保護事業について報告します。

- 埋蔵文化財工事立会3件(会下ノ遺跡・中尾八幡遺跡・梶ヶ谷横穴群)
- 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業
- 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」保護事業
- 県指定有形文化財「比木賀茂神社社叢」の枯死樹等調査
- 県指定有形文化財「比木賀茂神社社叢」の現状変更
- 市指定有形文化財『旧妙音庵薬師堂』の現況調査
- 説明看板の撤去及び改修工事
- 文化財整理室所蔵民具台帳デジタル化業務委託
- 御前崎市文化財保護審議会の開催
- 御前崎市立第一小学校の埋蔵文化財出張授業
- 御前崎小学校5年生における指定文化財出張授業
- 池新田地区在住の方々における指定文化財出張授業
- 第一小学校における指定文化財出張授業
- ウミガメ保護活動見学会の開催
- 桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレットの改訂
- 御前崎市文化財講座(池新田地区・高松地区)の開催
- 大産業まつりにおける「埋蔵文化財学習」の開催
- 御前崎港寄港 客船「ウェステルダム」おもてなしイベントでの「灯台パネル展」の開催
- カレッタギャラリーおまえざき2023の開催
- 歴史民俗資料等の利用・貸出し

令和6年3月31日

御前崎市教育委員会 教育長 吉村 紳治郎

例 言

- 1 本書は、令和5年度において御前崎市教育委員会が実施した文化財保護事業についてまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、埋蔵文化財調査・文化財保護・管理・文化財活用啓発活動に区分した。
- 3 令和5年度に工事立会を実施した会下ノ谷遺跡・中尾八幡遺跡、梶ヶ谷横穴群の工事立会報告書を掲載した。
- 4 試掘調査の体制は、次のとおりである。
調査主体 御前崎市教育委員会
調査員 村本 薫
- 5 アカウミガメ保護活動の体制は、御前崎市教育委員会からウミガメ保護監視員を委嘱した。
ウミガメ保護監視員 高田 正義 (通算 28年目)
良知 正美 (通算 18年目)
澤部 春市 (通算 12年目)
早山 彰夫 (通算 9年目)
横山 俊明 (通算 6年目)
渡辺 元治 (通算 5年目)
曾根 敏治 (通算 2年目)
福田 伸次 (通算 2年目)
- 6 本書の刊行に関する事務は、御前崎市教育委員会社会教育課が行った。
教 育 長 吉 村 紳治郎(令和5年4月1日から)
教 育 部 長 鈴 木 弘 康 (令和5年4月1日から)
社会教育課長 鈴木 和 明
芸術文化係長 村本 薫
芸術文化係 清水 皓太
- 7 本書の執筆は文化財担当が分担して行い、編集を村本が行った。執筆分担は以下のとおりである。
I 埋蔵文化財調査 1～3 村本 薫
II 文化財保護・管理 1 清水皓太 2～10 村本 薫
III 文化財活用啓発活動 1 村本 薫 2 清水皓太
3～4 (3) 村本 薫 4 (4)～(5) 清水皓太
5～8 村本 薫
IV 指定文化財一覧表 V 文化財関係刊行図書一覧 村本 薫
- 8 本書に収録した図、写真はすべて御前崎市教育委員会が保管している。

目 次

巻頭図版

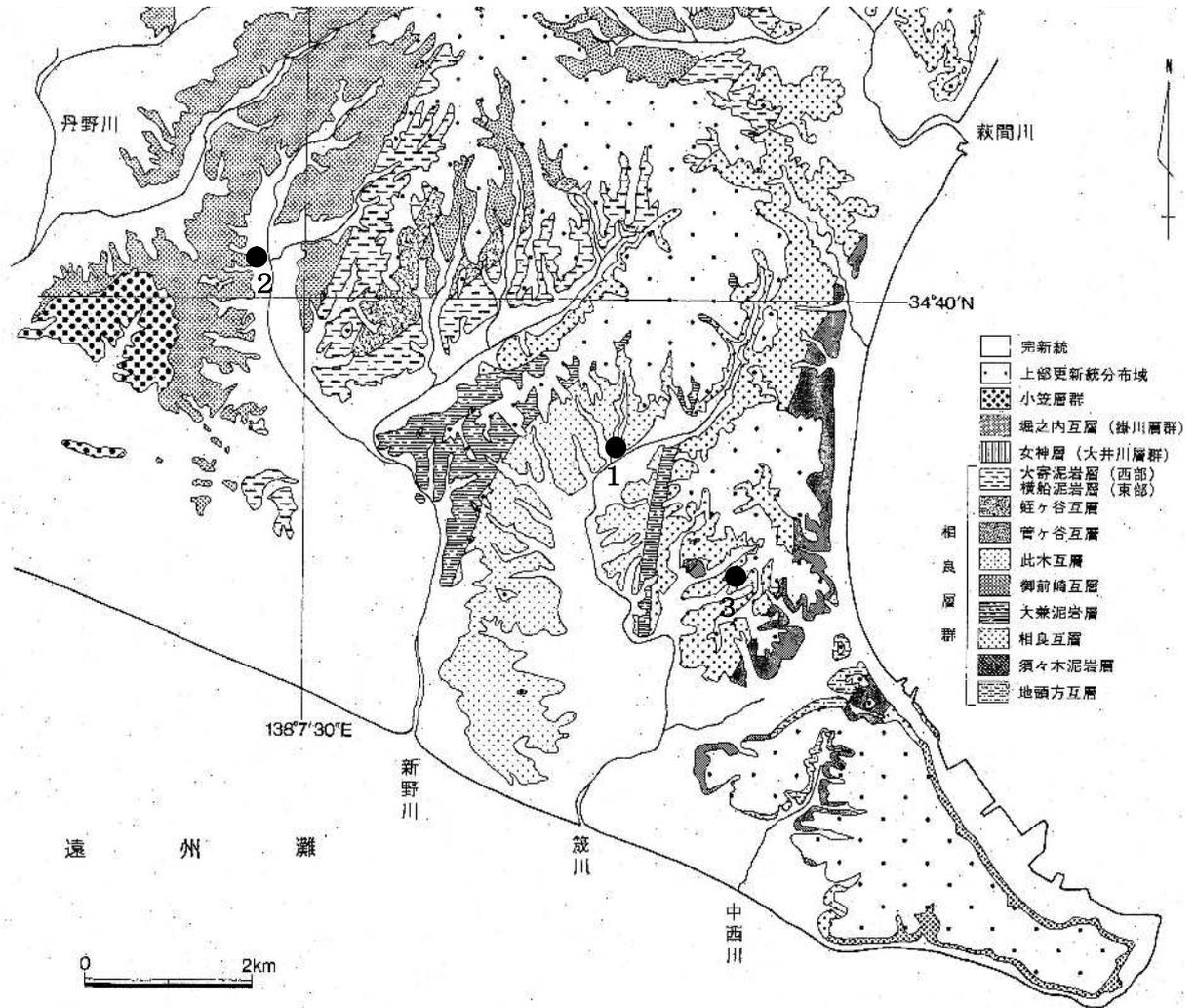
序 文

例 言

目 次

I	埋蔵文化財調査	1
1	市内遺跡工事立会の概要	1
2	中尾八幡遺跡工事立会報告書	2
3	梶ヶ谷横穴群工事立会報告書	4
II	文化財保護・管理	6
1	国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業	6
2	「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の現状変更	24
3	ウミガメ保護活動のまとめ	26
4	国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の保護事業	27
5	県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の枯死樹等調査	32
6	県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更	42
7	市指定有形文化財『旧妙音庵薬師堂』の現況調査	54
8	説明看板の撤去及び改修・設置工事	63
9	文化財整理室所蔵民具台帳デジタル化業務委託	65
10	御前崎市文化財保護審議会	66
III	文化財活用啓発活動	67
1	埋蔵文化財出張授業	67
2	指定文化財出張授業	68
3	桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレットの改訂	70
4	御前崎市文化財講座	71
5	市内イベントにおける文化財ブースの開設	77
6	写真資料の利用	79
7	歴史民俗資料等の貸出	80
8	歴史民俗資料等の特別利用許可	81
IV	指定文化財一覧	82
V	文化財関係刊行図書一覧	83

御前崎市の地形と工事立会遺跡の位置



埋蔵文化財工事立会箇所一覧

- 1 会下ノ谷遺跡 2 中尾八幡遺跡 3 梶ヶ谷横穴群

I 埋蔵文化財調査

1 市内遺跡工事立会の概要

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)及びその周辺地において、個人専用住宅新築工事・カーポート新設工事等の開発事業に伴い、埋蔵文化財の所在の有無等を確認するため、下表に示す3件の工事立会を実施した。

第1表 令和5年度 市内遺跡工事立会実施遺跡等一覧表

No.	遺跡等名	調査地	調査原因	事業主体	実施時期	面積/概要
1	会下ノ谷遺跡	御前崎市 比木会下ノ 谷	個人専用住 宅新築工事	個人	R5.7.4	工事立会137.45㎡ 遺構・遺物未発見
2	中尾八幡遺跡	御前崎市 新野字中西	カーポート 新設工事	個人	R5.11.14	工事立会59.45㎡ 遺構・遺物未発見
3	梶ヶ谷横穴群	御前崎市 比木字名波 谷	地質調査	中部電力株式 会社	R5.12.18	工事立会2㎡ 遺構・遺物未発見



1 会下ノ谷遺跡工事立会結果 1

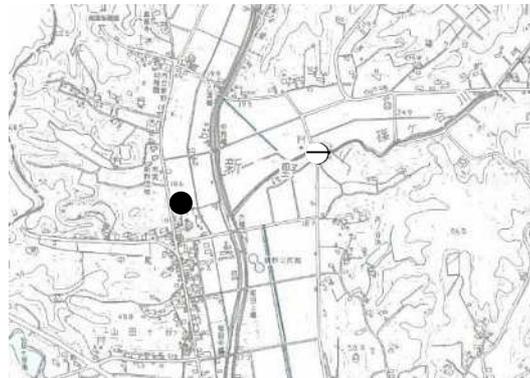


2 会下ノ谷遺跡工事立会結果 2

写真1 会下ノ谷遺跡個人住宅新築工事に伴う工事立会結果

(2) 中尾八幡遺跡工事立会報告書

所在地 御前崎市新野字中西 995 番地
工事立会主体者 御前崎市教育委員会
工事立会担当者 社会教育課 村本 薫
工事立会面積 59.45 m²
工事立会期間 令和5年11月14日
工事立会の原因 カーポート新築工事



第1図 遺跡の位置 (1/25,000)

1 工事立会結果

事業予定地内に存在する中尾八幡遺跡について、工事立会を実施した結果、遺構・遺物は発見されなかった。当該工事が埋蔵文化財に影響を及ぼすことはない判断された。



第2図 工事立会箇所



1 工事立会着手時の状況



2 柱部分の掘削風景

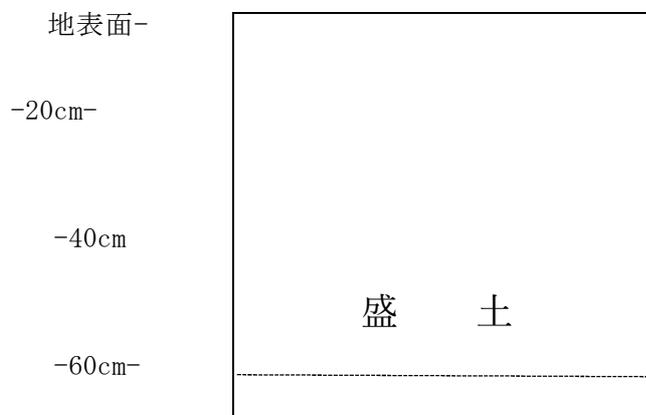


3 柱部分の掘削完了



4 柱部分の深さの計測

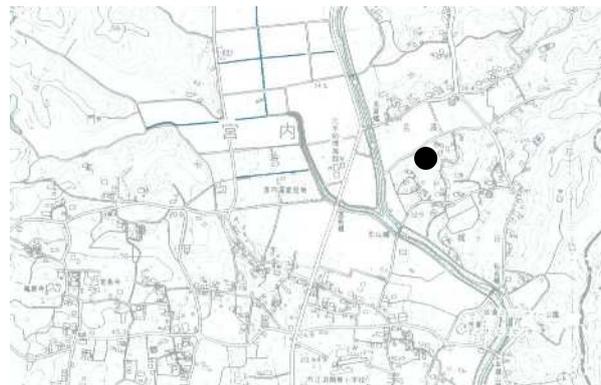
写真2 中尾八幡遺跡内での工事立会結果



工事立会箇所所見等

(3) 梶ヶ谷横穴群工事立会報告書

所在地 御前崎市比木字名波 5686-5
 工事立会主体者 御前崎市教育委員会
 工事立会担当者 社会教育課 村本 薫
 工事立会面積 2㎡
 工事立会期間 令和5年12月18日
 工事立会の原因 浜岡原発敷地北側における地層の露出状況及びその性状調査



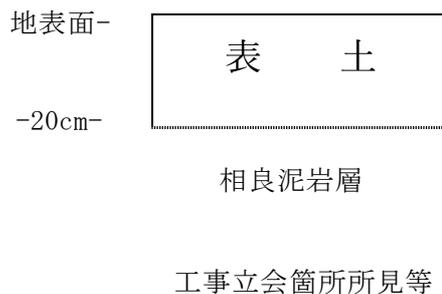
第3図 遺跡の位置 (1/25,000)

1 工事立会結果

事業予定地内に存在する梶ヶ谷横穴群について、工事立会を実施した結果、遺構・遺物は発見されなかった。当該工事が埋蔵文化財に影響を及ぼすことはない判断された。



第4図 工事立会箇所



1 地質調査風景

2 調査地点完掘状況

写真3 梶ヶ谷横穴群での工事立会結果

II 文化財保護・管理

1 国指定天然記念物『御前崎のウミガメ及びその産卵地』保護事業

(1) 調査報告

① ウミガメ上陸・産卵地

御前崎海岸には、昔から主にアカウミガメが上陸し、産卵をしている。世界的にも希少動物となったアカウミガメを保護するため、昭和55年3月6日に「御前崎のウミガメ及びその産卵地」が国指定天然記念物に指定された。

産卵地としての指定区域は、下岬海岸及びキンスから東松沢川までの約1.9kmの海岸部であり、御前崎海岸の全体というわけではなく、第1区の一部と、第2区、第3区が指定地内となり、第4区、第5区は指定地外である。特に、第2区、第3区、第4区、第5区は、護岸堤の設置や高波による海岸の砂の流出により、産卵場所が減少している。第1区に関しては、砂の堆積がみられるなど産卵場所の確保は他区に比べよいが、砂を掘ると水が湧く等、産卵適地であるとはいえない。御前崎地区、浜岡地区の海岸についてもアカウミガメの上陸・産卵が確認されているが、今年度も、上陸の痕跡のみで、産卵には至っていないケースが多くみられた。

令和5年度においては、アカウミガメの上陸・産卵頭数、産卵個数及びふ化頭数は昨年よりも半分以下と大幅に減少し、ふ化率も昨年よりも減少した。

ウミガメの上陸頭数や産卵個数の増減の原因はアカウミガメの生態が解明されていない現時点では、明確な回答が出ない状態である。ウミガメの産卵周期にかかわる現象であれば、再度増加に転ずることも考えられるため、その推移を見守るとともに、産卵場所となる海岸の保全に努めたい。

② 巡視区域と保護監視員

教育委員会から委嘱された8名(御前崎海岸4名・浜岡海岸4名)の保護監視員が担当区域を巡視して、上陸・産卵頭数等の確認調査等を実施した。

第1区	マリンパーク	から	元	根	(曾根 敏治)
第2区	元	根	から	芹	沢 (横山 俊明)
第3区	芹	沢	から	東松沢川	(横山 俊明)
第4区	東松沢川	から	尾	高	(澤部 春市)
第5区	尾	高	から	箆	川 (高田 正義)
浜1区	新野川	から	本町・中町の境		(福田 伸次)
浜2区	本町・中町の境	から	七つ山・塩原の境		(渡辺 元治)
浜3区	七つ山・塩原の境	から	塩原・合戸の境		(早馬 彰夫)
浜4区	塩原・合戸の境	から	合戸・掛川市の境		(良知 正美)

③ 保護監視員の任務

- ・産卵シーズンの毎朝、各自担当する区域の巡視
- ・ふ化開始からふ化終了までのふ化場巡視
- ・ウミガメに関する注意、呼びかけ
- ・上陸頭数、産卵頭数、産卵個数、ふ化頭数の確認調査
- ・卵及び子ガメの安全管理（ふ化場への移動）
- ・子ガメのふ化管理と放流
- ・海岸に漂着したウミガメの死骸処理及び供養

④ 令和5年度ウミガメ保護監視員及び事務局の主な活動記録

（全体活動）

- ・ウミガメ保護監視員による早朝、夜間巡視（5月15日開始）
- ・ふ化巡視（7月1日開始）

<4月>

- 20日 ウミガメ保護監視員会議
- 28日 ふ化場天地返し

<5月>

- 8日 亀バックホーム大作戦（御前崎中学校行事）
- 11日 子亀供養祭
- 15日 ウミガメ保護活動開始

<6月>

- 4日 ウミガメ初上陸【御前崎第4区／浜岡第3区】
- 6日 ウミガメ初産卵【御前崎第5区／浜岡第1区】
- 15日 子ガメ放流会（御前崎小学校行事）

<7月>

- 23日 玉滝村御前崎交流会 ウミガメ保護活動説明

<8月>

- 7日 ウミガメ初ふ化【6月6日 浜岡第1区 産卵24頭】

<9月>

- 14日 子ガメ受け入れ式（御前崎小学校行事）

<11月>

- 2日 アカウミガメふ化場卵掘り起こし

<12月>

- 8～9日 視察研修（視察先：名古屋港水族館）

⑤ 上陸・産卵・ふ化状況

令和5年度における御前崎市のアカウミガメ上陸・産卵・ふ化状況については、集計表を掲載する。



①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	

- ①5/9 亀バックホーム大作戦 ②5/11 供養祭
 ③6/6 初産卵 ④6/15 御前崎小子ガメ放流会
 ⑤7/17、18、24、25 ウミガメ保護活動見学会
 ⑥8/7 ウミガメ初ふ化
 ⑦9/14 子ガメ受け入れ式

写真4 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子

第5図

ウミガメ巡視区域図 (御前崎地区)



第2表

令和5年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
月計																		
総計																		

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第3表

令和5年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(6月分)

区 日	1 区			2 区			3 区			4 区			5 区			合 計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4									1							1		
5																		
6									3	3	303					3	3	303
7																		
8																		
9																		
10																		
11							1									1		
12	1															1		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21	1															1		
22	1															1		
23																		
24									1	1	104					1	1	104
25																		
26																		
27																		
28	1															1		
29	1															1		
30	1								1	1	132					2	1	132
月計	6						1		6	5	539				13	5	539	
総計	6						1		6	5	539				13	5	539	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第4表

令和5年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2	1															1		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10									2	1	135				2	1	135	
11																		
12																		
13	2	1	75						1						3	1	75	
14				1											1			
15																		
16																		
17									1	1	124				1	1	124	
18	1	1	105						1	1	110				2	2	215	
19				1											1			
20							1								1			
21																		
22													1		1			
23													1		1			
24							1	1	123						1	1	123	
25									1						1			
26																		
27									1						1			
28	1														1			
29																		
30																		
31				1					1	1	105				2	1	105	
月計	5	2	180	3			2	1	123	8	4	474	2		20	7	777	
総計	11	2	180	3			3	1	123	14	9	1,013	2		33	12	1,316	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第5表 令和5年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2	2	1	101													2	1	101
3	3	1	137													3	1	137
4																		
5	1	1	104													1	1	104
6																		
7																		
8																		
9																		
10	2	1	103													2	1	103
11																		
12									1							1		
13																		
14																		
15																		
16	3															3		
17	2			1												3		
18	1	1	123													1	1	123
19	1															1		
20																		
21	2															2		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
月計	17	5	568	1					1						19	5	568	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
総計	28	7	748	4			3	1	123	15	9	1,013	2		52	17	1,884	

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第6表 令和5年度 アカウミガメふ化状況集計表(御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	6月6日	尾高	84			1		3.57%	
				8月14日	2		69		
				8月15日	1		70		
				計	3	1			
2	6月6日	薄原	103	8月12日	18		67	23.30%	
				8月13日	1		68		
				8月18日	2		73		
				8月26日	3		81		
				計	24	0			
3	6月6日	薄原	116	8月12日	12		67	12.93%	
				8月13日	2		68		
				8月17日	1		72		
				計	15	0			
4	6月24日	薄原	104	8月19日	4		56	4.80%	
				8月21日	1		58		
				計	5	0			
5	6月30日	小僧山	132	8月20日	78		51	62.12%	
				8月22日	4		53		
				計	82				
6	7月10日	薄原	135	8月30日	125		51	92.59%	
				計	125	0			
7	7月13日	海藻場	75	8月31日	32		49	44.00%	
				9月1日	1		50		
				計	33	0			
8	7月17日	尾高	124	9月2日	68		47	57.25%	
				9月4日	3		49		
				計	71	0			
9	7月18日	通り	105					0.00%	
				計	0	0			
10	7月18日	小僧山	110	9月2日	96		46	89.09%	
				9月4日	1		48		
				9月15日	1		59		
				計	98	0			
11	7月24日	広沢	123	9月13日	39		51	33.33%	
				9月14日	2		52		
				計	41	0			
12	7月31日	小僧山	105	9月18日	95		49	91.42%	
				10月1日	1		62		
				計	96	0			
13	8月2日	通り	101					0.00%	
				計	0	0			
14	8月3日	海藻場	137					0.00%	
				計	0	0			
15	8月5日	海藻場	104					0.00%	
				計	0	0			
16	8月10日	海藻場	103					0.00%	
				計	0	0			
17	8月18日	海藻場	123					0.00%	
				計	0	0			
※									
合計			1,884		593	2	58.64	31.48%	
平均									

放流頭数(御小20匹除く)	571
0%巢を除いたふ化率	48.97%

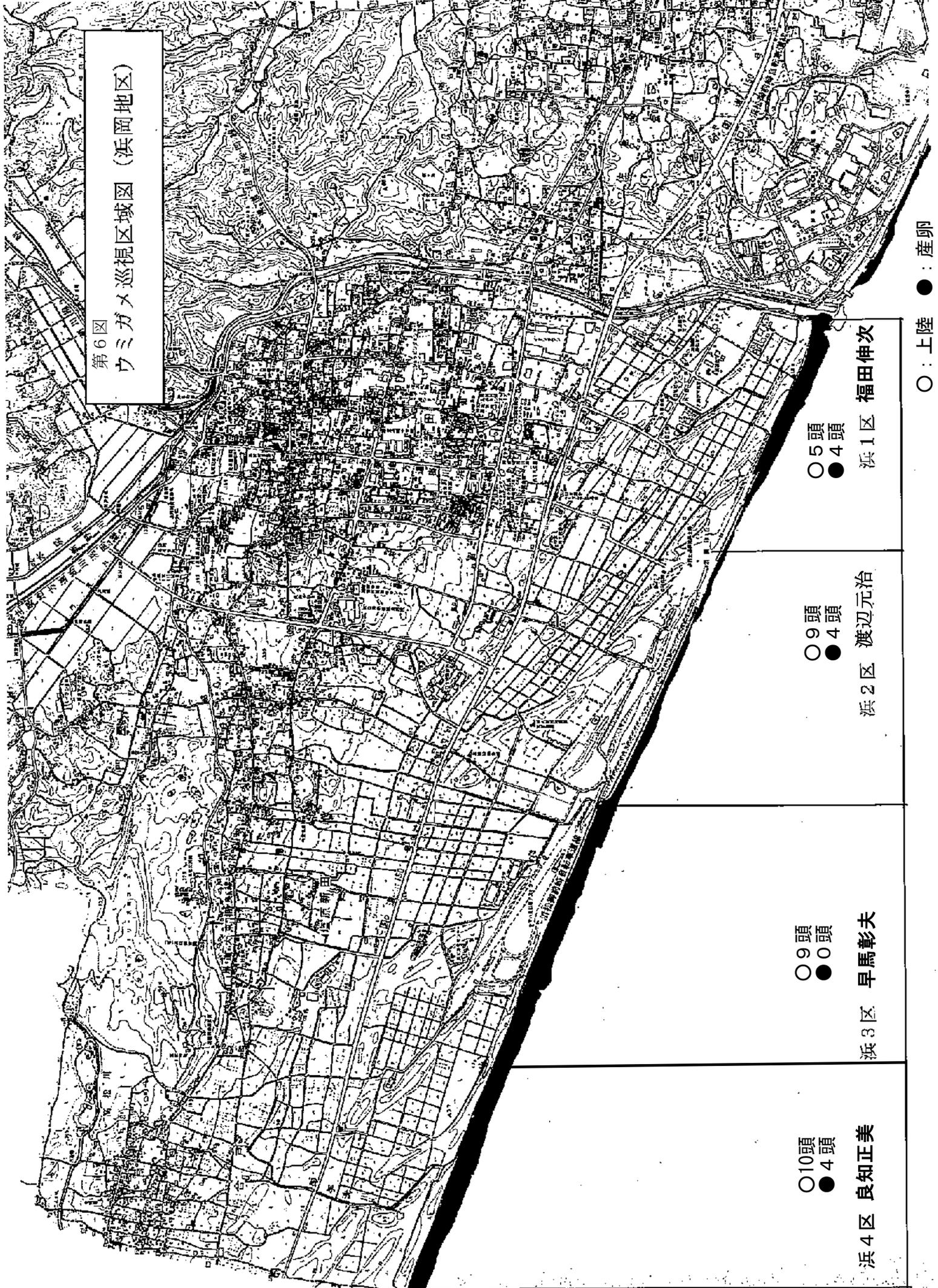
最大ふ化率	92.59%
最小ふ化率	3.57%

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	2	11.76%	240	12.74%
80%以上90%未満	1	5.88%	110	5.84%
70%以上80%未満	0	0.00%	0	0.00%
60%以上70%未満	1	5.88%	132	7.01%
50%以上60%未満	1	5.88%	124	6.58%
40%以上50%未満	1	5.88%	75	3.98%
30%以上40%未満	1	5.88%	123	6.53%
20%以上30%未満	1	5.88%	103	5.47%
10%以上20%未満	1	5.88%	116	6.16%
1%以上10%未満	2	11.76%	188	9.98%
0%	6	35.29%	673	35.72%
計	17	99.97%	1,884	100.01%

区名	巢数
第1区	7
第2区	0
第3区	1
第4区	9
第5区	0
計	17

第6図

ウミガメ巡視区域図 (浜岡地区)



○10頭
●4頭

浜4区 良知正美

○9頭
●0頭

浜3区 早馬彰夫

○9頭
●4頭

浜2区 渡辺元治

○5頭
●4頭

浜1区 福田伸次

○ : 上陸 ● : 産卵

第7表

令和5年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

区 日	(5月分)				合 計		
	1 区 上 産 卵	2 区 上 産 卵	3 区 上 産 卵	4 区 上 産 卵	上陸	産卵	産卵個数
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
月計							
総計							

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第8表

令和5年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

区 日	1区			2区			3区			4区			(6月分) 合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4							1						1		
5															
6	1	1	105										1	1	105
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15							1						1		
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23									1	1	115		1	1	115
24															
25															
26															
27															
28				1	1	104							1	1	104
29	1			1	1	87	1						3	1	87
30															
月計	2	1	105	2	2	191	3		1	1	115		8	4	411
総計	2	1	105	2	2	191	3		1	1	115		8	4	411

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第9表

令和5年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

区 日	1区			2区			3区			4区			(7月分) 合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7	1	1	135										1	1	135
8															
9															
10															
11															
12															
13	1	1	109										1	1	109
14				1	1	154				1	1	120	2	2	274
15	1	1	141							1	1	120	2	2	261
16															
17															
18							1						1		
19															
20															
21															
22							1			1			2		
23				1	1	133							1	1	133
24										1			1		
25				1						1			2		
26				1									1		
27							1						1		
28										1	1	85	1	1	85
29				2									2		
30				1						2			3		
31							1						1		
月計	3	3	385	7	2	287	4			8	3	325	22	8	997
総計	5	4	490	9	4	478	7			9	4	440	30	12	1,408

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

第10表

令和5年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1							1								
2															
3										1			1		
4							1						1		
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
月計							2			1			2		
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
月計															
総計	5	4	490	9	4	478	9			10	4	440	32	12	1,408

*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$ を示す。

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	6月6日	東町	105	8月7日	24		62	23.80%	
				8月15日	1		70		
				計	25	0			
2	6月23日	塩原	115	8月18日	2		56	2.60%	
				8月20日	1		58		
				計	3	0			
3	6月28日	大三	104	8月20日	60		53	60.57%	
				8月22日	2		55		
				8月23日	1		56		
				計	63	0			
4	6月29日	大山	87	8月20日	74		52	85.05%	
				計	74	0			
5	7月7日	東町	135		0	0		0.00%	
6	7月13日	東町	109	8月31日	37		49	33.94%	
				計	37	0			
7	7月14日	大三	154	9月1日	53		49	35.06%	
				9月2日	1		50		
				計	54	0			
8	7月14日	塩原	120	9月2日	24		50	21.66%	
				9月4日	1		52		
				9月6日	1		54		
				計	26	0			
9	7月15日	東町	141	9月2日	122		49	86.52%	
				計	122	0			
10	7月15日	塩原	120		0	0		0.00%	
				計	0	0			
11	7月23日	七ツ山	133		0	0		0.00%	
				計	0	0			
12	7月28日	塩原	85	9月16日	39		50	47.05%	
				10月1日	1		65		
				計	40	0			
合計			1,408		444	0			
平均							54.71	31.53%	

放流頭数	444
0%巣を除いたふ化率	31.53%

最大ふ化率	86.52%
最小ふ化率	2.60%

ふ化率	巣数	比率	卵数	比率
90%以上	0	0.00%	0	0.00%
80%以上90%未満	2	16.67%	228	16.19%
70%以上80%未満	0	0.00%	0	0.00%
60%以上70%未満	1	8.33%	104	7.39%
50%以上60%未満	0	0.00%	0	0.00%
40%以上50%未満	1	8.33%	85	6.04%
30%以上40%未満	2	16.67%	263	18.68%
20%以上30%未満	2	16.67%	225	15.98%
10%以上20%未満	0	0.00%	0	0.00%
1%以上10%未満	1	8.33%	115	8.17%
0%	3	25.00%	388	27.56%
計	12	100.00%	1,408	100.01%

区名	巣数
第1区	4
第2区	4
第3区	0
第4区	4
計	12

第12表

令和5年度 地温計測状況(ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
8月1日	30.7	31.1	30.9	31.2	28.5	29.4	31.9
8月2日	29.9	30.4	30.5	30.7	26.1	27.4	30.6
8月3日	30.4	30.5	30.8	30.9	27.6	27.4	30.6
8月4日	30.2	30.7	30.8	31.2	26.7	30.5	31.7
8月5日	30.1	30.1	30.7	31.3	30.4	26.8	30.5
8月6日	31.1	31.5	31.6	31.8	27.6	29.6	31.7
8月7日	28.4	29.3	29.2	28.7	25.6	25.5	29.7
8月8日	27.8	27.7	27.8	27.9	26.6	26.0	28.0
8月9日	29.1	28.7	28.4	28.7	27.4	27.2	
8月10日	28.5	28.1	28.3	28.1	27.4	27.0	29.1
8月11日	29.7	29.1	29.4	29.6	29.0	28.9	30.4
8月12日	30.1	30.0	30.2	30.4	27.4	29.4	30.5
8月13日	30.9	30.7	30.8	31.0	28.6	29.3	31.3
8月14日	30.6	30.4	30.6	30.9	27.2	28.7	30.6
8月15日	29.3	29.9	29.9	29.4	28.0	28.8	30.9
8月16日	28.4	28.5	28.7	28.5	27.4	27.0	28.5
8月17日	28.3	28.6	28.7	28.8	27.1	27.1	29.3
8月18日	29.2	29.2	29.4	29.7	27.7	27.6	29.6
8月19日	30.0	30.9	30.6	30.4	27.5	27.9	31.4
8月20日	30.7	31.0	30.9	31.0	27.9	28.9	31.4
8月21日	30.4	31.0	31.2	31.4	27.8	30.6	31.2
8月22日	31.4	31.7	31.6	31.6	28.2	29.6	31.7
8月23日	30.6	31.3	31.3	31.0	28.0	27.7	31.7
8月24日	29.4	29.5	29.9	29.3	27.6	27.2	28.6
8月25日	28.8	28.9	29.0	28.9	27.2	27.0	28.5
8月26日	29.5	29.7	29.9	29.9	27.0	27.3	30.3
8月27日	29.7	29.5	29.7	29.7	25.6	25.5	29.4
8月28日	29.5	30.1	30.0	29.8	27.5	27.4	30.8
8月29日	29.0	29.1	29.5	29.2	26.6	27.8	29.5
8月30日	29.8	29.9	30.2	30.0	24.9	25.8	30.2
8月31日	30.2	30.8	30.6	30.6	28.0	27.8	31.1
平均	29.7	29.9	30.0	30.1	27.4	27.9	30.4

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第13表
令和5年度 地温計測状況(ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
9月1日	29.7	29.9	30.1	30.3	26.9	27.1	30.0
9月2日	30.1	30.8	30.9	30.6	27.0	27.0	30.7
9月3日	30.1	30.6	30.6	30.8	27.2	28.3	31.0
9月4日	31.4	31.5	31.3	31.3	28.4	28.4	31.2
9月5日	29.3	30.1	29.9	29.7	26.5	27.6	29.5
9月6日	28.4	28.2	28.5	28.5	27.2	26.9	28.5
9月7日	27.8	28.0	28.2	28.2	24.7	25.1	28.0
9月8日	25.7	26.4	26.2	26.3	22.6	22.3	26.1
9月9日	26.3	26.0	26.2	26.1	24.2	24.6	26.2
9月10日	27.0	27.0	27.0	26.8	25.5	25.5	27.3
9月11日	27.8	27.5	27.5	27.6	26.8	26.6	27.9
9月12日	27.7	27.5	27.5	27.5	26.1	25.7	27.4
9月13日	28.0	27.9	27.9	28.0	25.5	26.7	27.9
9月14日	28.1	27.9	28.4	28.4	25.8	25.7	28.7
9月15日	29.3	28.9	28.9	29.0	27.4	27.5	28.6
9月16日	29.5	29.6	29.6	29.8	27.3	28.6	29.6
9月17日	29.8	29.9	29.6	29.8	26.3	26.6	30.0
9月18日	28.8	29.2	29.4	29.7	26.2	26.0	29.8
9月19日	29.5	29.7	29.6	29.8	25.4	26.9	29.2
9月20日	29.9	30.5	30.0	30.1	26.9	27.9	31.0
9月21日	29.2	29.7	29.6	29.9	26.2	28.5	29.5
9月22日	25.1	26.0	26.5	26.1	24.2	24.1	26.0
9月23日	26.6	27.0	27.1	27.1	23.5	23.7	27.1
9月24日	24.0	26.6	26.8	26.9	23.9	23.8	26.9
9月25日	25.6	25.3	25.8	25.3	23.9	23.5	25.7
9月26日	25.8	25.9	26.0	26.1	22.5	22.4	25.6
9月27日	26.7	26.5	26.4	26.5	23.4	24.1	26.8
9月28日	27.8	27.3	27.4	27.7	25.0	24.9	27.3
9月29日	27.4	27.6	27.5	27.7	23.8	25.0	27.7
9月30日	27.5	27.7	27.3	27.8	25.4	25.0	28.1
平均	28.0	28.2	28.3	28.3	25.5	25.9	28.3

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さ

第14表
令和5年度 地温計測状況(ふ化場)

月・日	1	2	3	4	気温	表面	中央
10月1日	28.1	28.3	28.2	28.5	26.6	25.7	28.3
10月2日	25.5	26.7	26.3	25.9	23.2	22.0	26.4
10月3日	26.0	26.5	26.6	26.3	26.1	23.0	27.9
10月4日	20.0	20.0	19.9	20.2	20.5	19.6	20.5
10月5日	21.6	21.6	21.7	21.2	20.6	19.9	21.9
10月6日	21.1	21.0	21.1	21.1	16.5	15.5	21.7
10月7日	21.0	21.1	21.1	21.3	15.6	16.3	21.4
10月8日	22.7	22.3	21.9	22.1	21.2	21.0	22.8
10月9日	21.9	21.8	21.7	21.8	20.2	20.2	22.0
10月10日	22.4	22.5	22.3	22.0	19.5	19.4	22.5
10月11日	22.0	22.3	22.4	22.1	18.9	20.0	22.3
10月12日	21.6	21.6	21.7	21.4	19.9	19.7	22.3
10月13日	21.9	21.5	21.3	21.4	19.4	19.3	22.1
10月14日	22.0	21.8	21.7	21.9	17.6	17.5	22.1
10月15日	20.6	20.9	20.4	20.6	18.0	18.3	20.9
10月16日	17.7	17.4	17.5	17.6	17.0	16.6	17.1
10月17日	20.3	20.4	20.3	20.4	17.6	17.4	20.8
10月18日	21.5	20.7	21.2	21.7	18.8	18.6	21.8
10月19日	21.3	19.6	21.5	21.6	18.6	18.7	21.3
10月20日	24.5	23.6	23.0	23.1	25.8	25.7	24.2
10月21日	20.7	20.9	20.6	20.5	16.9	17.0	20.7
10月22日	19.0	19.1	18.4	19.2	11.3	11.2	19.2
10月23日	19.6	19.2	19.5	19.8	18.2	17.1	19.5
10月24日	17.2	18.6	18.2	18.7	15.5	15.6	19.1
10月25日	20.3	20.7	20.3	20.4	16.0	17.8	20.8
10月26日	18.8	19.2	19.5	19.4	14.2	16.1	19.5
10月27日	19.5	19.7	20.0	20.0	17.3	17.5	19.9
10月28日	21.0	20.3	20.1	20.1	20.9	20.9	21.5
10月29日	20.8	20.0	19.8	19.7	18.2	17.9	20.1
10月30日	19.2	19.3	19.3	19.5	15.2	15.1	19.4
10月31日	20.2	21.0	20.5	20.5	18.0	18.4	20.9
平均	21.3	21.3	21.2	21.3	18.8	18.7	21.6

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

2 「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の現状変更

(1) 御前崎小学校短期育成アカウミガメ(子ガメ)への標識の装着

現状変更箇所の地番 御前崎市立御前崎小学校
許可申請者の名称 個人
現状変更箇所の所在地 御前崎市御前崎 3556 番地
着手及び終了の時期 令和5年6月1日から
令和5年6月14日



第7図 御前崎小学校位置図(1/25,000)

① 現状変更等の内容等及び実施の方法

A 目的

アカウミガメは広大な海洋で生活している動物である。近年の科学技術の進歩により生活史は少しずつ解明されてきているが、彼らの海洋での生活は未知な部分が多く、解明されていないことが多くある。静岡県御前崎市から愛知県田原市に広がる遠州灘はアカウミガメの大きな繁殖場の一つで、アカウミガメの産卵生態に関する知見は増えてきているが、ふ化幼体や亜生体に関する知見は非常に少ない。アカウミガメを保全していくためには、生物学的特性を知る必要がある。本現状変更は、アカウミガメの保全に関する基礎的研究のため、アカウミガメの生息範囲や成長などの実態を把握することを目的とする。

B 内容

- ・甲長・体重測定（基礎データ収集のため）
- ・御前崎小学校で短期育成しているアカウミガメ9個体に標識を装着（個体識別のため）。

C 方法

- ・御前崎小学校で短期育成しているアカウミガメの幼体を計測する。
- ・アカウミガメの幼体を放流する前に金属製の標識装着作業を行う。

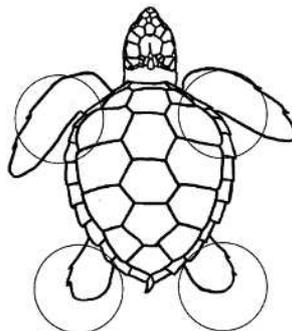
D 予想される結果

継続的に本研究を行うことで、北太平洋におけるアカウミガメの生息範囲や成長などの実態を把握することができる。

E 金属製の標識を取り付ける場所（第12図参照）

大きさ

- ・前肢部分
全長 20 mm 幅 2 mm
- ・後肢部分
全長 7 cm 幅 8 mm



第8図 標識を取付ける場所の模式図



写真5 標識を付けたウミガメの様子1



写真6 標識を付けたウミガメの様子2

(2) 御前崎白羽海岸養浜事業工事

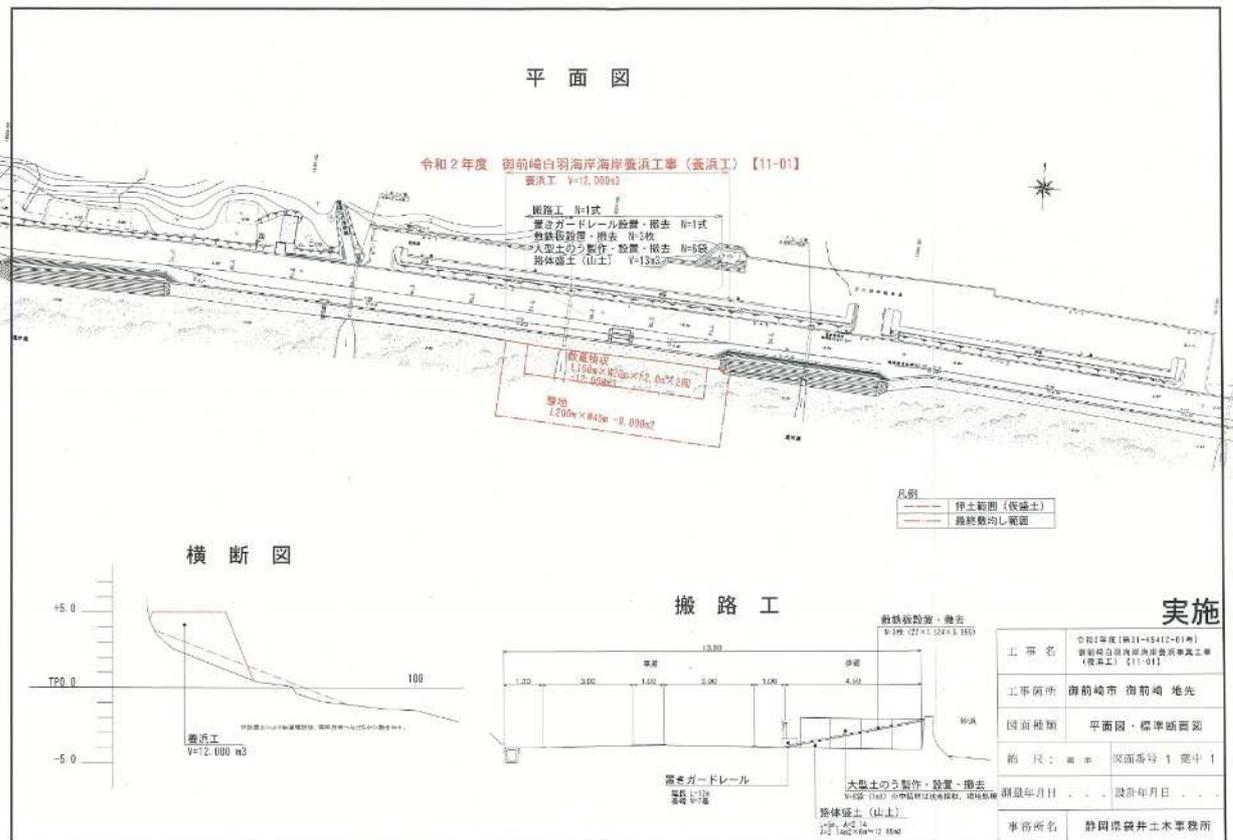
現状変更箇所の地番 御前崎市御前崎地先
 許可申請者の名称 静岡県知事 川勝 平太
 事務所の所在地 静岡県静岡市葵区追手町
 9番6号
 着手及び終了の時期 令和5年6月23日から
 令和5年8月15日
 施行者の氏名 静岡県袋井土木事務所長
 施工者の住所 袋井市山名町2番1号



第9図 海岸養浜工事運搬経路

① 現状変更等の内容及び実施の方法

砂浜の浸食対策としてマリニパーク御前崎内の浚渫砂及び2級河川箴川の浚渫砂を、ウミガメ巡視区域の指定箇所である3区の区域内に養浜 (V=12,000m³) した。ダンプトラックにより土砂を海岸へ直接投入し、その後、ブルドーザーにより周辺地形と調和するようになだらかに敷き均した。



第10図 令和2年度御前崎白羽海岸養浜事業工事（養浜工）平面図【参考】

3 ウミガメ保護活動のまとめ

御前崎のウミガメ保護活動は、昭和 47 年に旧御前崎町教育委員会がウミガメ保護監視員を委嘱してから本格的な活動が始まった。その後、昭和 52 年に県の天然記念物に、昭和 55 年には国の天然記念物に指定された。平成 20 年度からは同じ御前崎市内のウミガメを保護する目的として、浜岡海岸のウミガメについても、ウミガメ保護監視員による保護活動を開始した。現在は、御前崎市教育委員会から委嘱された 8 名のウミガメ保護監視員が保護活動を継続している。

平成 26 年 4 月 1 日からは、アカウミガメが指定希少野生動植物に追加指定されるなど、保護活動のより一層の充実が求められる。

令和 5 年度におけるウミガメのふ化頭数は、前年の良好な結果とは一転、上陸・産卵頭数及び産卵個数に関しても、芳しくない結果となった。

一方で、通年実施していた産卵観察会について、既存体制を見直し、ウミガメの生態に配慮した事業実施を行うため、新たに「ウミガメ保護活動見学会」として事業を実施した。これまでの本市のウミガメ保護活動の軌跡を知っていただくとともに、保護活動の内容及び市内海岸の様子について体験を通じて学べる機会を設けることができた。また、ウミガメ保護活動の啓発活動として、新たに「カレッタギャラリーおまえざき 2023」という展示企画を行い、今年度実施したウミガメ保護活動の様子や上陸したウミガメの写真や御前崎小学校や市内で活動するアーティストが作成した芸術作品の展示、ウミガメの塗り絵体験コーナーを開催することができ、新たな年齢層に向けてウミガメの周知を行うことができた。

長期的な課題として、御前崎の自然も年々変化し、海岸（産卵場所）のゴミ問題や砂浜の減少等、ウミガメの上陸・産卵にとっては厳しい状況であることに変わりはない。

御前崎の豊かな自然の保全やウミガメが安心して産卵できる環境を整えるため海岸清掃や産卵地の巡視を実施するとともに、静岡県による養浜工が継続して行われている。しかし、風や波の影響で海岸が侵食され続けているのが、御前崎の産卵地における現状といえる。

ウミガメの種を保存していくことを第一に考えつつ、ウミガメから御前崎の自然や文化を伝達し、命の大切さや思いやりの心を少しでも多くの人たち感じてもらえるように活動していきたい。

ウミガメ保護監視員等への励ましや保護活動に向けられる興味関心、貴重な御意見・御指導いただいた多くの方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

これからもウミガメ保護活動に、あたたかい御支援・御協力をお願いいたします。



写真7 大海原に旅立つアカウミガメ

4 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の保護事業

(1) 保護事業の内容及び実施の方法

国指定天然記念物である「白羽の風蝕礫産地」は御前崎市が管理団体になっていることから、保護事業として南側の駐車場部分や北側の市道新神子広沢線沿いの除草等業務を実施している。

令和5年度の除草等業務は、一般社団法人御前崎市シルバー人材センター及び株式会社雄樹園に委託して実施した。

一般社団法人御前崎市シルバー人材センターによる駐車場部分(第11図の維持の措置箇所①)の除草等業務は、令和5年9月7日と12月1日に草刈り機などを使用して、県道佐倉御前崎港線から駐車場への入口通路から万葉の歌碑周辺の駐車場部分の除草等業務を実施した。刈った草や竹などについては2tダンプに積んで搬出し、牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターに運搬して搬入した。

株式会社雄樹園による市道新神子広沢線沿い(第11図の維持の措置箇所②)の除草等業務は、令和5年9月20日に草刈り機などを使用して、市道新神子広沢線から白羽の風蝕礫産地内に樹木がある部分までの斜面の草や竹などの除草等を実施した。刈った草や竹などについては2tダンプに積んで搬出し、牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターに運搬して搬入した。



1 駐車場入口通路の除草等業務作業風景



2 駐車場入口通路の除草等業務施行後



3 万葉の歌碑周辺駐車場の除草等業務施行前



4 万葉の歌碑周辺駐車場の除草等業務施行前

写真8 白羽の風蝕礫産地駐車場部分の除草等業務1



1 除草作業施行風景 1



2 竹の伐採風景



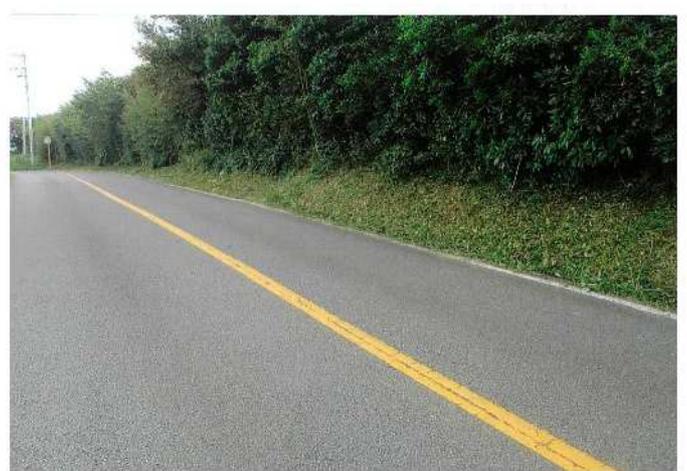
3 除草等業務の施工前 1



4 除草等業務の施行後 1

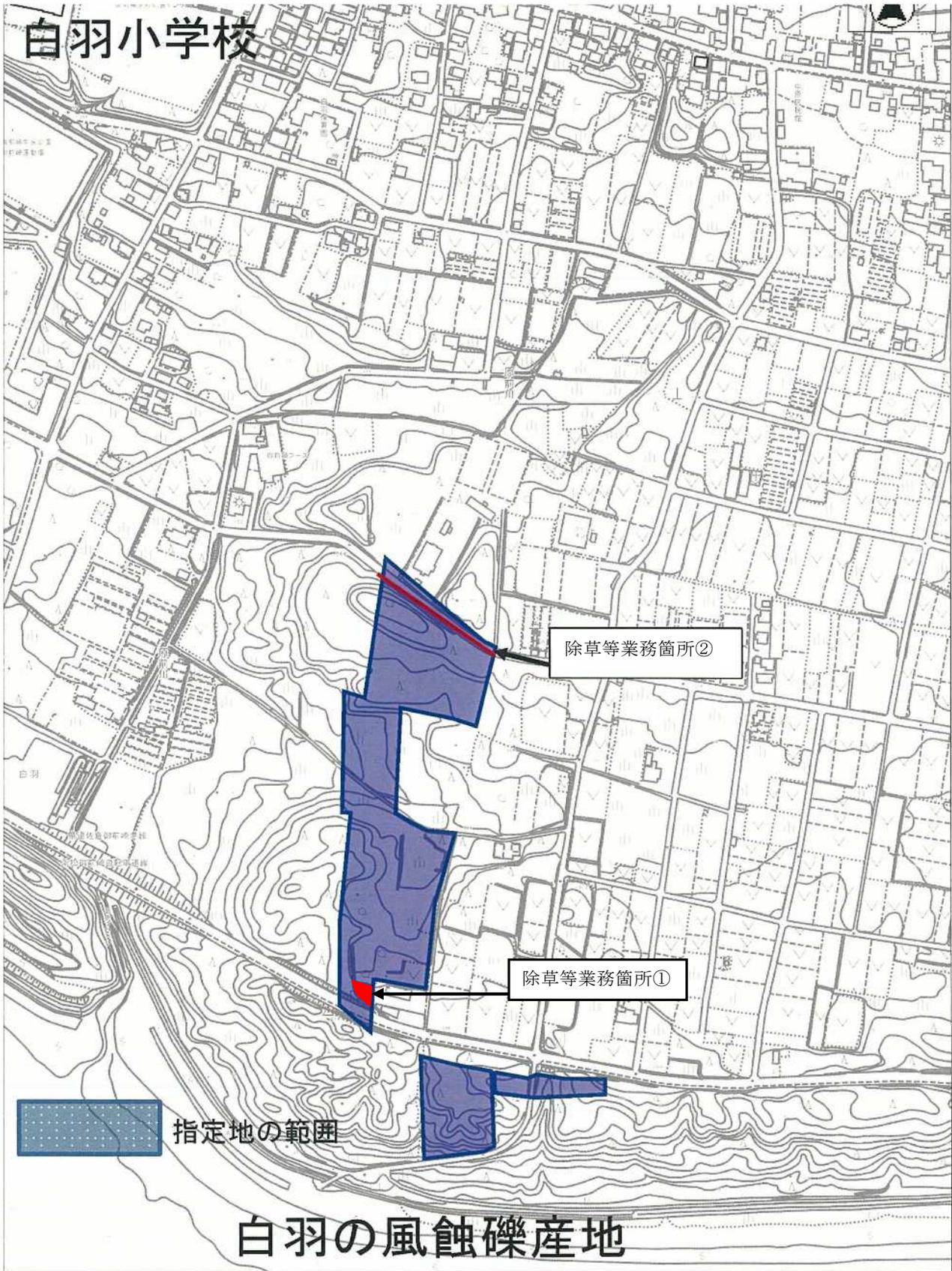


5 除草等業務の施工前 2



6 除草等業務の施行後 2

写真 9 白羽の風蝕礫産地市道新神子広沢線沿いの除草等業務 2



第 11 図 白羽の風蝕礫産地の除草等業務箇所位置図

(2) 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」用地測量作業計画及び基準点設置業務委託

1 事業目的

文化財保護法第115条で「文部科学省令の定める基準により、史跡名勝天然記念物の管理に必要な標識、説明板、境界標、囲いその他の施設を設置しなければならない」と規定されている。

そのため、国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の指定地の境界を明確にするため、令和5年度から2ヶ年度に分けて業務委託を行い、令和6年度に境界標を設置する。

令和5年度の事業委託は、国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の指定地の用地測量のための作業計画作成及び基準点の設置業務を行った。

2 事業内容

事業について下表のとおり、用地測量のための資料調査を行い、用地測量の作業計画の作成と基準点の設置を行った。

国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」用地測量業務内容一覧表

区分・工種・種別・再別	規格	単位	数量	備考
4級基準点測量	伐採あり、 永久標識設置なし	点	33	
打合せ等	標準、中間3回	業務	1	
作業計画	作業計画	業務	1	
現地踏査	作業計画	業務	1	
公図等の転写	資料調査	万㎡	4.68	
土地登記記録調査	資料調査	万㎡	4.68	
公図等転写連続図作成	資料調査	万㎡	4.68	
電子成果品作成	測量	業務	1	

3 履行期間

令和5年11月2日から令和6年2月29日まで

4 用地測量の区域

本業務の用地測量の区域は、指定地全域及び隣地合わせて、4.68万㎡である。（公図等数量根拠公図転写連続図参照）

5 指名競争入札の実施

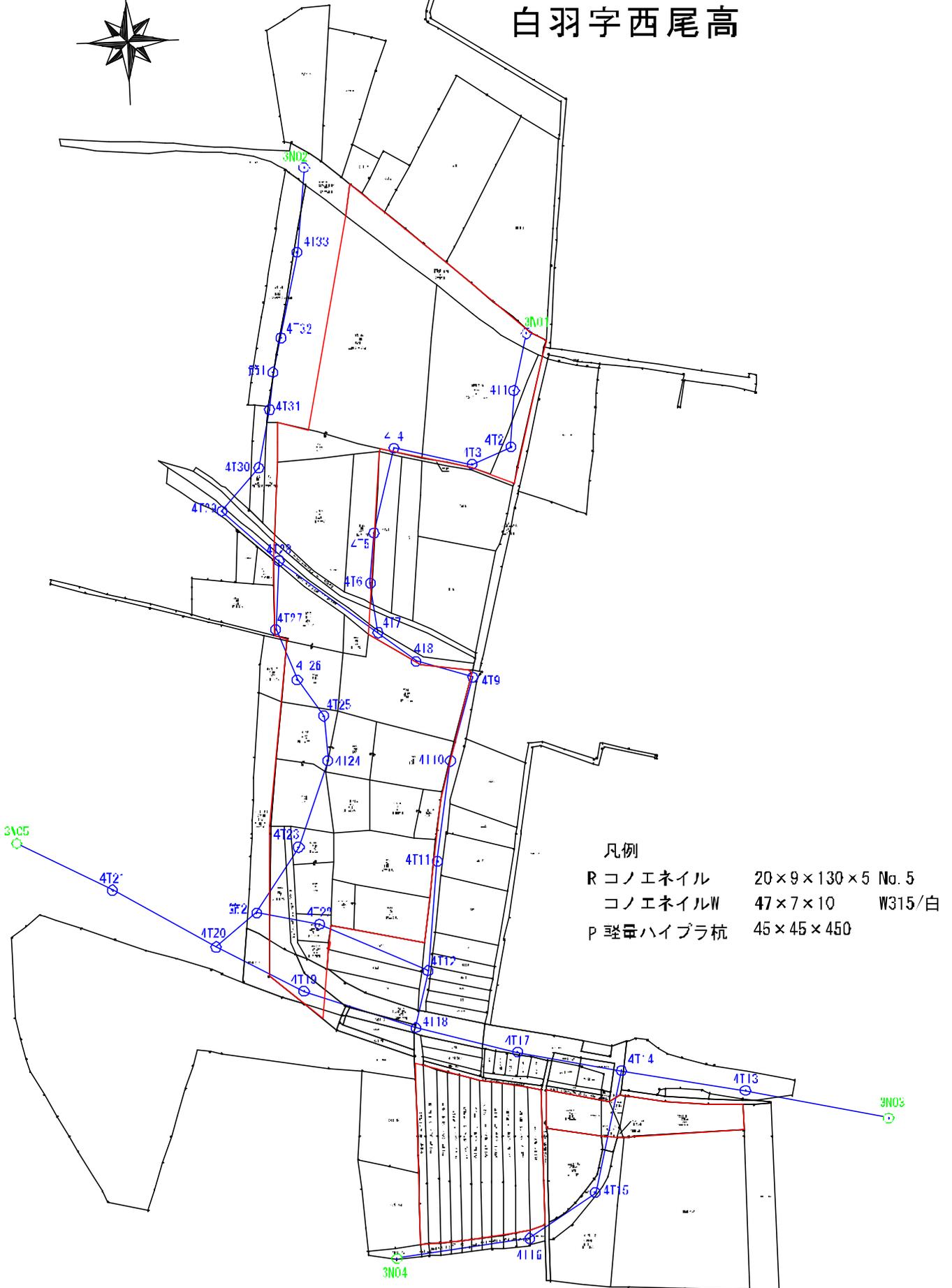
本業務委託は、指名競争入札により選定した測量業者に業務を委託して実施した。



白羽字西尾高

選点図 S=1:2500

白羽字西尾高

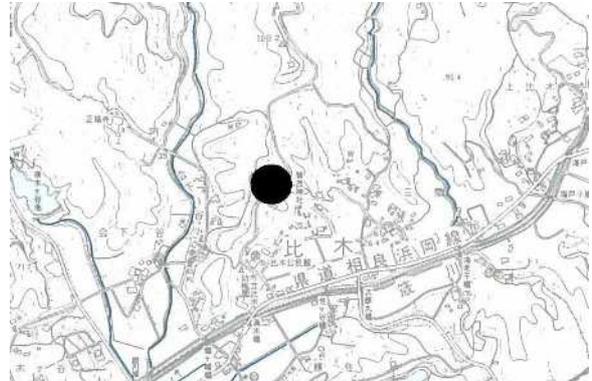


第 12 図 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」基準点選点図

5 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の枯死樹等調査

(1) 比木賀茂神社社叢の枯死樹等調査に至る経緯

令和2年3月ごろに賀茂神社氏子から要望があり、現地を確認したところ、複数の大径木の劣化が確認された。今後の現状変更の計画を策定していく方法なども含めて、静岡県文化財課の文化資源活用班の職員の随行による静岡県文化財保護審議会の徳岡徹委員による調査が令和2年12月24日に実施された。



第13図 比木賀茂神社社叢の位置(1/25,000)

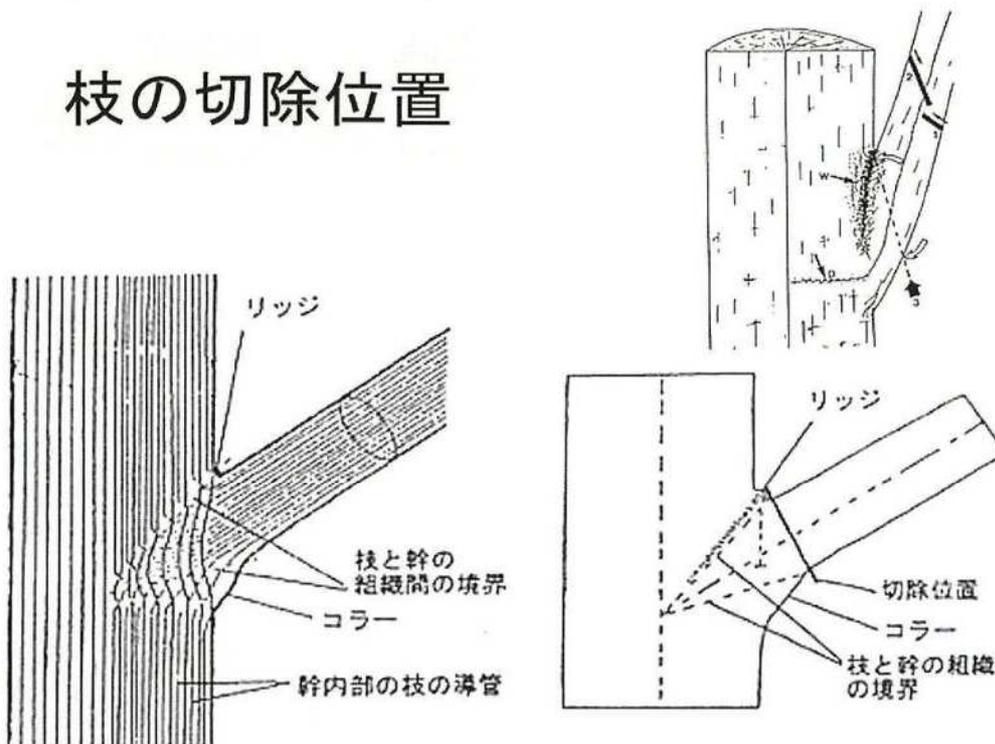
令和5年度に比木賀茂神社社叢の樹幹崩壊危険樹や枯死樹などの神社建造物に倒木時の被害を与える恐れのある支障木の伐採及び剪定の工事を実施するにあたり、令和2年度の調査以降に劣化が進んだ支障木や新たに確認された支障木があったことから、令和5年10月12日に樹木の専門家で組織された特定非営利活動法人「郷里の自然を育む会」の樹木医である芹澤節夫氏に依頼して、比木賀茂神社社叢の樹幹崩壊危険樹及び枯死樹等調査を実施していただいた。その調査報告書は以下のとおりである。

県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の樹幹崩壊危険樹及び枯死樹等調査報告書 2023年10月12日 特定非営利活動法人郷里の自然を育む会 理事長 西ヶ谷千鶴子

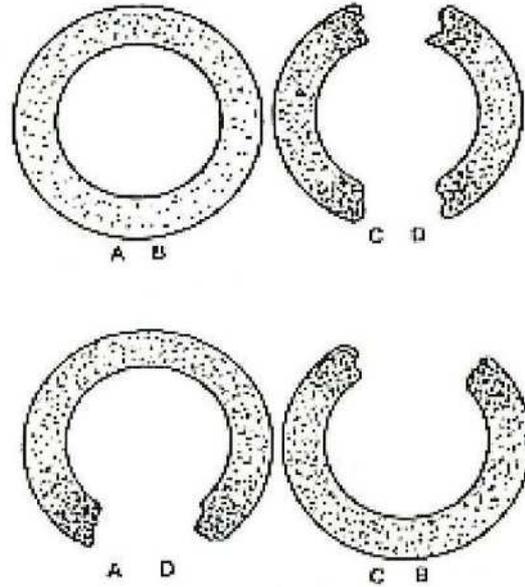
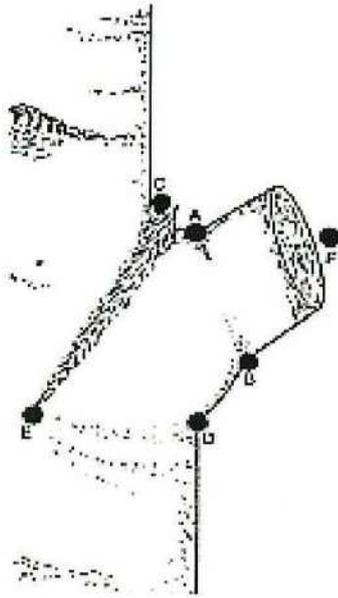


資料<樹木の整枝>

枝の切除位置



※切除位置：リッジとコラーを残して切除する。 切除位置が的確で負傷部に保護剤を塗布してあれば肉厚の新組織が早く形成され、切り口は塞がり腐朽することはない。



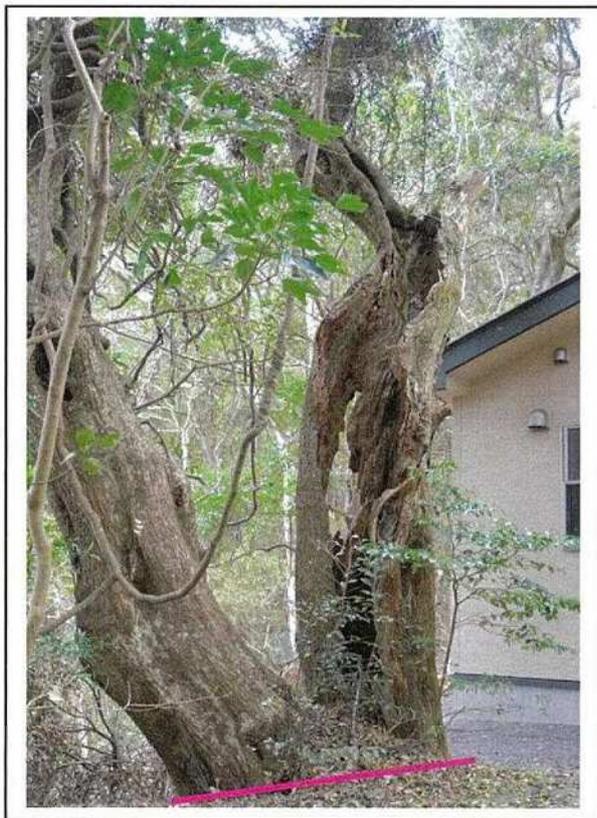
切除位置と、新組織形成との関係：リッジまたはコラーが切除されると、そこは新組織が丸く形成されず、その部位から腐朽が進展しやすい。樹幹の場合には基本は枝や芽がある上部で切るが、この際にもリッジ、コラーの部位は残し、太さにもよるが上部5mm～1cm上側を切って保護剤を塗る。傷口保護剤：トップジンMペースト 2,500円/kg



1. ヤマモモ、モッコク：短めに切れば旺盛な新梢が伸びるので、新梢生長後に整枝し樹形を整える。樹木により高さに差をつけ、生長後の景観を良くする。



24. スタジイ：鳥居の上にかかるので地表面から切除する。

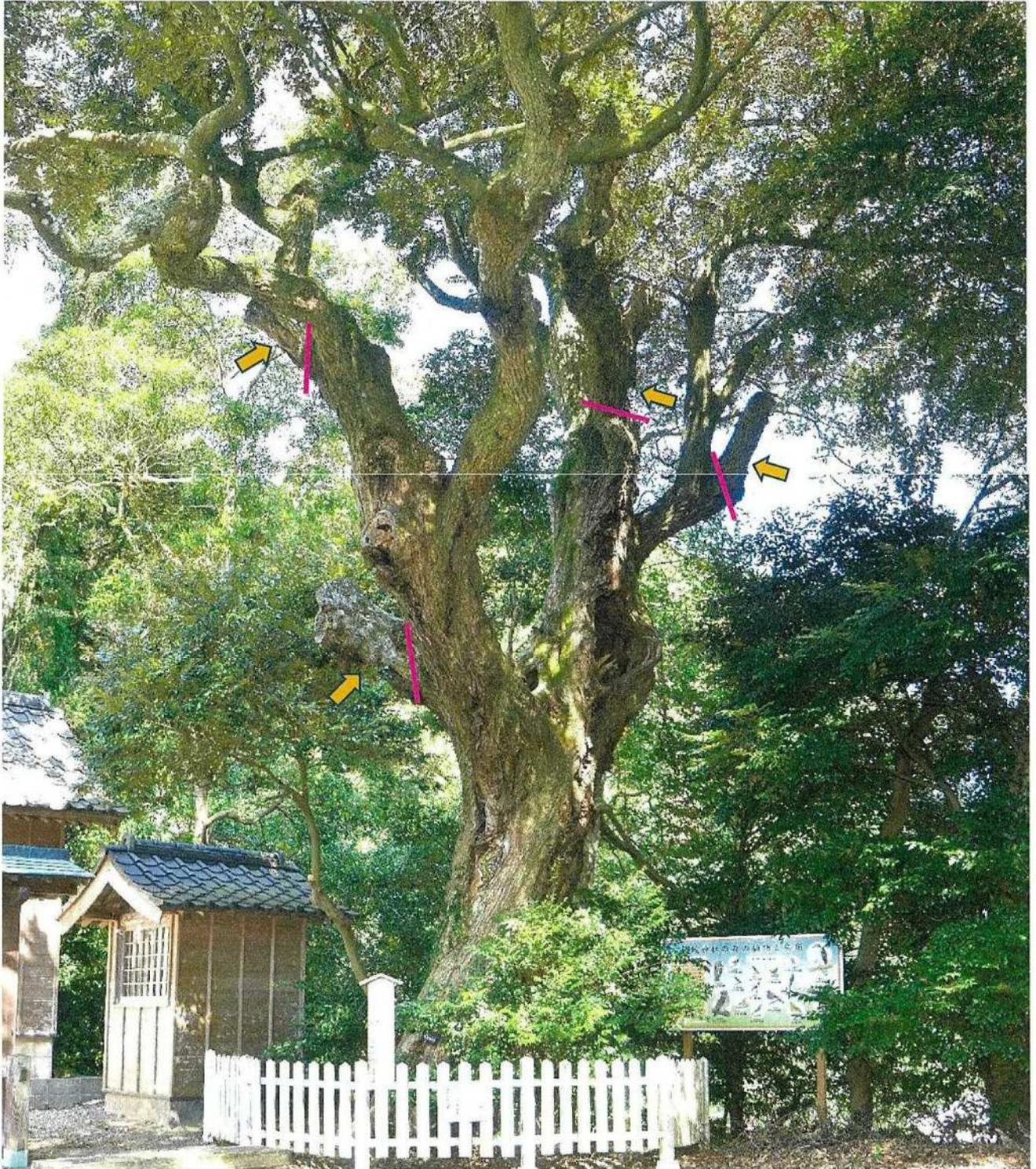


34. スタジイ：切除

樹幹の損傷が激しく崩落の危険があるため切除する。



90. 御神木：スダジイ（2019年3月19日）



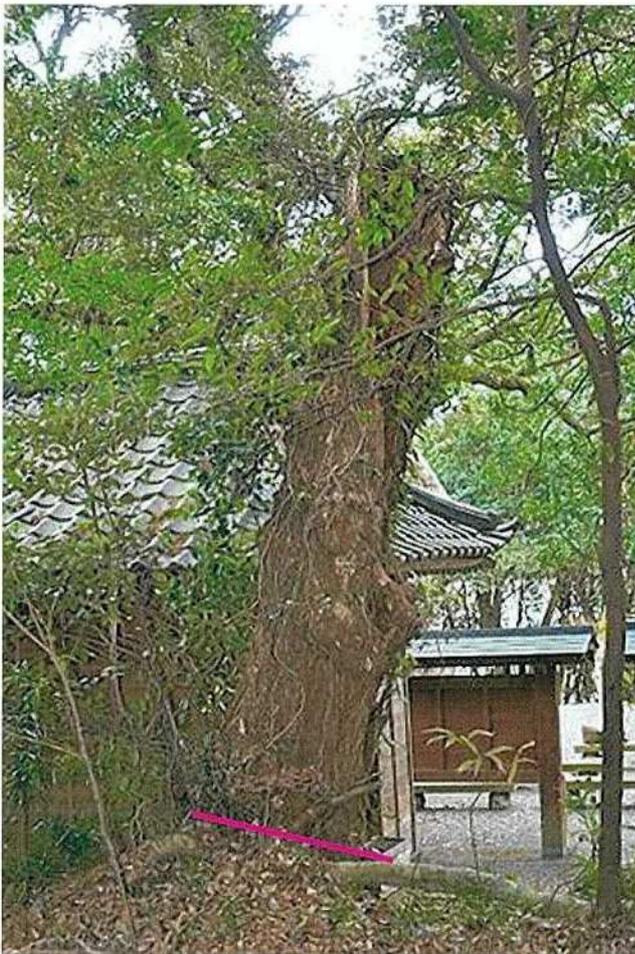
90. 御神木スダジイ（2023年10月12日）
枯死太枝は落下防止と腐朽進展防止のため切除する。



48. イチイガシ；枯死太枝切除



94, ウラジロガシ、97, スダジイ
津島神社の屋根にかかるため地表面
から切除する。



97. スダジイ拡大

主幹が腐朽し内部は根元近くま
で空洞になっており、崩落し倒壊
の危険があるため地表面から切除
する。

90. 御神木スタジイ



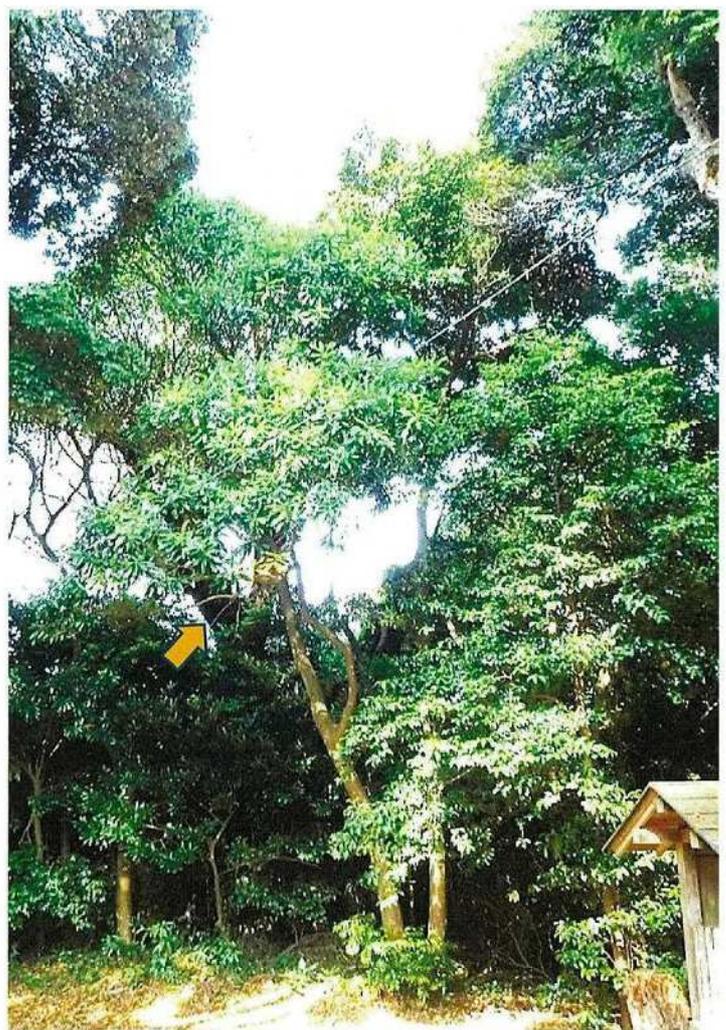
50. スタジイ

90. 御神木スタジイ・50.スタジイ

上の左側写真を見ると、枝が風で揺れた際に耐えられないと考えられます。空洞部の下で切除したらどうか？また、右写真の損傷している張出し枝は、斜線の位置で切除する。



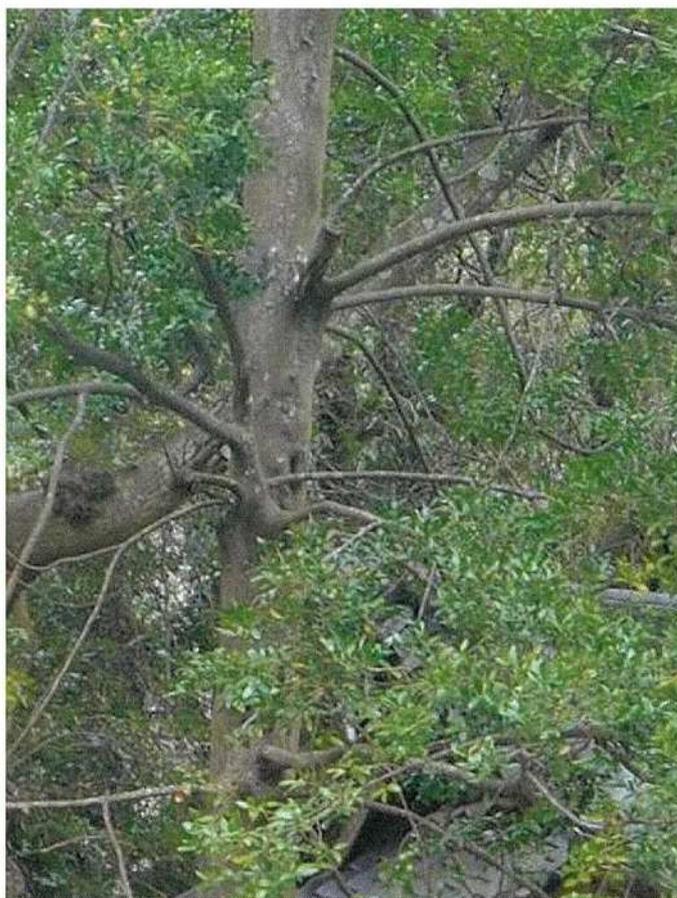
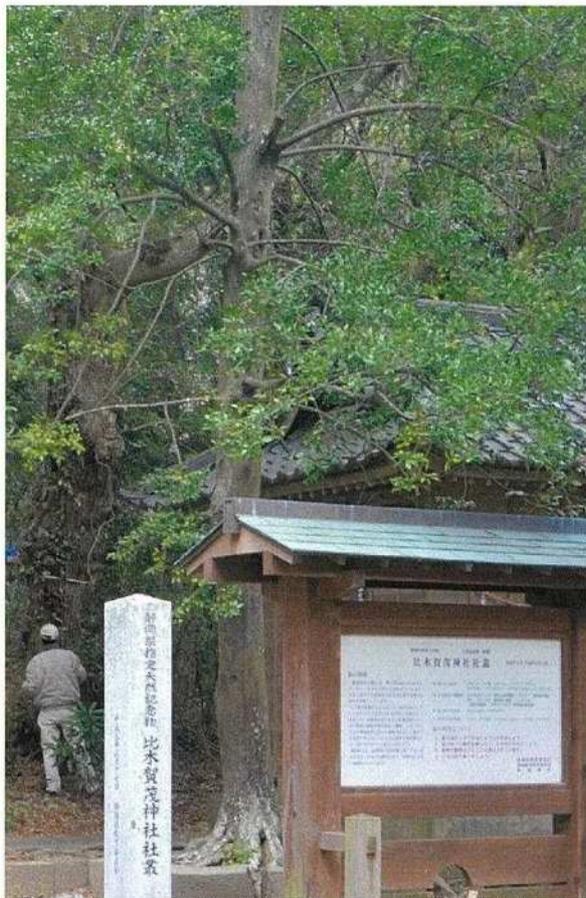
98. クロガネモチ:樹高調整



84. ホルトノキ:小葉化や縮葉および樹冠の衰退などホルトノキ萎黄病の症状が認められ、伝染源になるので地際から切除する。防除法は確立していません。



55. スダジイ：頂部にのみ枝葉が繁茂する風圧折損害を受けやすい樹姿です。主幹が損傷腐朽し倒木の危険があるため、下枝の発生を促した後に樹高を下げ樹形を作り直すか、地表面から切除処分します。



93. ナギ：落下防止のため枯死枝は切除する。



拝殿裏側の雑木処理：屋根にかからないように2m程度に刈り揃える。

資料の最初に整枝剪定などの基礎技術を図解しました。これらを参考に整枝や樹形を整えるなどの管理をして戴ければと思います。幹、太枝の切除に限らず整枝でも適正な位置で剪除し、傷口からの枯れ込みの進展がないように、必ず保護剤を塗布します。

なお、トップジンMペーストは塗布後に乾燥を促すため少なくとも3日以上、降水がないように留意しましょう。可能であれば枝幹の切除や整枝剪定は乾燥期で発芽前の2月中～下旬に行い、隙間がないように丁寧な保護剤塗布を心掛けてください。

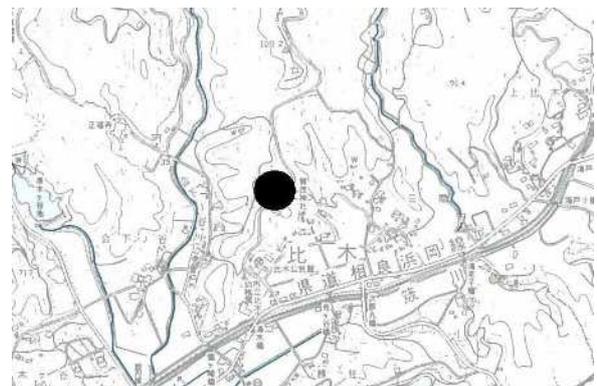
以上。

6 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更

(1) 現状変更に至る経緯

令和5年10月12日実施した比木賀茂神社社叢の樹幹崩壊危険樹及び枯死樹等調査報告書に基づいて令和5年12月6日付御教社第629号で現状変更許可申請書を進達した。

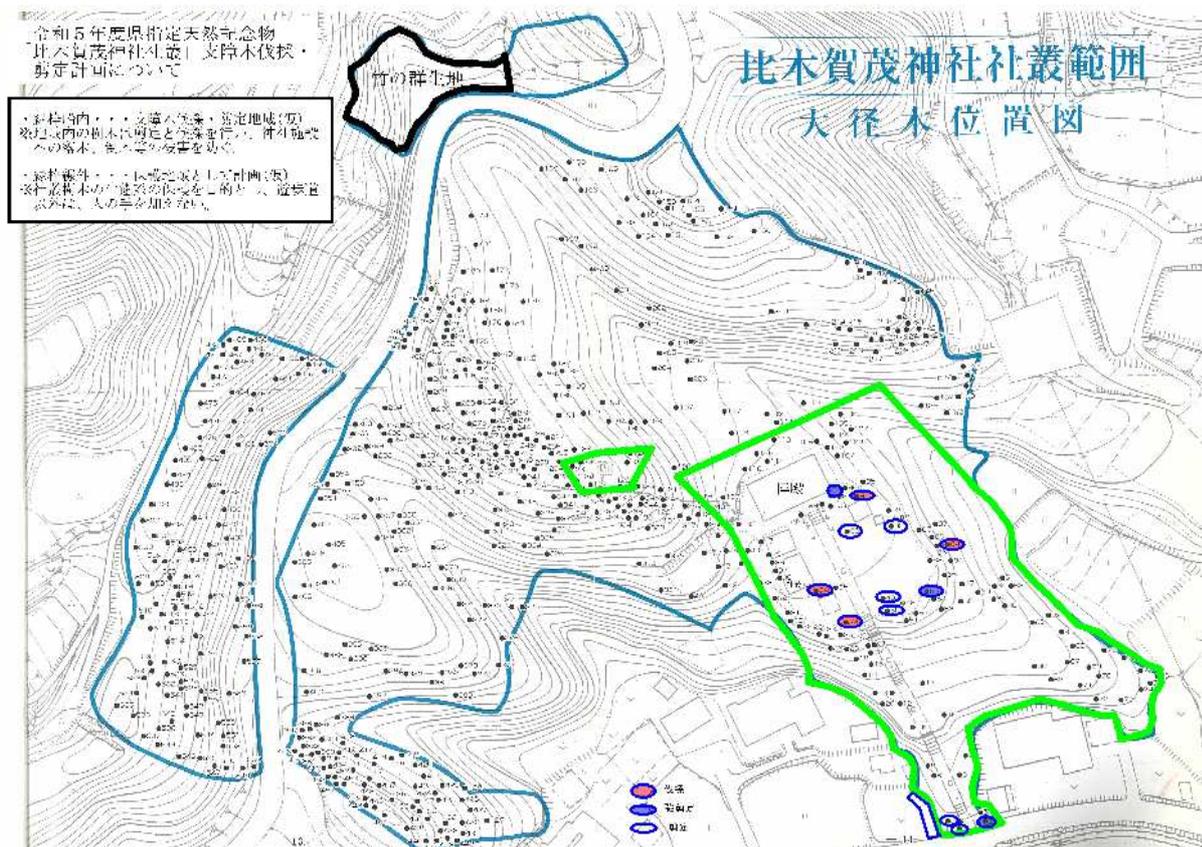
そして、令和5年12月11日付文財第2160号で、静岡県文化財保護条例第33条の規定に基づき静岡県知事により現状変更が許可された。令和6年1月9日から令和6年3月24日にかけて樹勢が著しく衰えている樹木、神社建造物に倒木時の被害を与える恐れのある支障木の伐採及び剪定の工事を実施した。



第14図 比木賀茂神社社叢の位置(1/25,000)

(2) 現状変更等の内容及び実施の方法

特殊伐採ができる専門の業者により、高所作業車を手配し、樹幹崩壊危険樹や枯死樹等の支障木については根元から伐採し、枯枝等の剪定箇所は支障になっている枝や幹の途中の部分を作業者が高所作業車を利用し、必要に応じて樹木に上り作業を行った。切った枝等は作業者が細かく伐採し、ダンプに積み込み搬出してチップ等を行う処分場へ運搬した。



第13表 令和5年度 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」支障木伐採・剪定計画表

■大径木と胸高円周		番号	植物名	胸高円周 (cm)	直径 (cm)	種別名	胸高円周 (cm)	直径 (cm)	植物名	胸高円周 (cm)	
伐採	強剪定	剪定	1	ヤマモモ・モッコク	215	33	ヤマモモ	120	65	スダジイ	306
			2	スダジイ	228	34	スダジイ	204	66	カラスギンシヨク	98
			3	クワガサキ	132	35	クワガサキ	103	67	スダジイ	161
			4	クワガサキ	130	36	クワガサキ	51	68	ヒメユズノハ	454
			5	イヌモミ	138	37	クワガサキ	49	69	スダジイ	89
			6	イヌモミ	139	38	クワガサキ	19	70	ヤマモモ	143
			7	クスノキ	339	39	クスノキ	36	71	スダジイ	149
			8	ホルトノキ	318	40	クワガサキ	58	72	スダジイ	283
			9	ウツギロガシ	142	41	スダジイ	62	73	ヒノキ	66
			10	スダジイ	241	42	ヒメユズノハ	47	74	モッコク	109
			11	スダジイ	184	43	モッコク	118	75	クスノキ	176
			12	スダジイ	222	44	モッコク	125	76	モッコク	109
			13	ヒノキ	125	45	ヒノキ	176	77	ホルトノキ	317
			14	ヒノキ	179	46	ヒメユズノハ	34	78	クワガサキ	136
			15	スダジイ	223	47	ヒノキ	185	79	モッコク	81
			16	スダジイ	144	48	イヌモミ	205	80	スダジイ	98
			17	クワガサキ	135	49	モッコク	90	81	クイマンダイバク	64
			18	スダジイ	134	50	スダジイ	146	82	モッコク	45
			19	スダジイ	131	51	モッコク	117	83	スダジイ	128
			20	ヤマモモ	165	52	モッコク	89	84	ホルトノキ	220
			21	ヤマモモ	65	53	モッコク	24	85	クスノキ	55
			22	スダジイ	232	54	モッコク	88	86	モッコク	143
			23	ヒメユズノハ	21	55	スダジイ	228	87	モッコク	65
			24	スダジイ	286	56	スダジイ	216	88	スダジイ	235
			25	スダジイ	242	57	スダジイ	22	89	スダジイ	139
			26	モッコク	172	58	スダジイ	181	90	スダジイ	374
			27	スダジイ	209	59	ヤマモモ	171	91	クワガサキ	53
			28	モッコク	80	60	スダジイ	335	92	クワガサキ	90
			29	モッコク	136	61	スダジイ	131	93	ホルトノキ	101
			30	スダジイ	131	62	クワガサキ	36	94	ウツギロガシ	36
			31	スダジイ	178	63	ヒメユズノハ	64	95	スダジイ	201
			32	イヌモミ	130	64	クイマンダイバク	45	96	クワガサキ	100
			97	スダジイ	198	97	スダジイ	130	161	スダジイ	84
			98	クワガサキ	137	98	モッコク	87	162	ホルトノキ	165
99	イヌモミ	241	31	ヤマモモ	263	163	ホルトノキ	21			
100	ヒノキ	139	32	イヌモミ	224	164	スダジイ	81			
101	ヒメユズノハ	55	33	ホルトノキ	124	165	ホルトノキ	10			
102	クワガサキ	51	34	クワガサキ	58	166	クワガサキ	31			
103	スダジイ	199	35	クイマンダイバク	75	167	モッコク	132			
104	イヌモミ	75	36	クワガサキ	235	168	スダジイ	31			
105	イヌモミ	78	37	クワガサキ	53	169	クワガサキ	83			
106	イヌモミ	200	38	ホルトノキ	134	170	クワガサキ	85			
107	スダジイ	427	39	クワガサキ	67	171	スダジイ	134			
108	イヌモミ	85	40	ヒメユズノハ	73	172	スダジイ	159			
109	イヌモミ	121	41	クワガサキ	116	173	スダジイ	127			
110	モッコク	140	42	スダジイ	174	174	スダジイ	239			
111	クワガサキ	167	43	スダジイ	90	175	スダジイ	157			
112	イヌモミ	529	44	モッコク	76	176	クワガサキ	69			
113	クワガサキ	97	45	スダジイ	80	177	クワガサキ	33			
114	クワガサキ	88	46	クワガサキ	48	178	スダジイ	134			
115	クワガサキ	45	47	クワガサキ	62	179	スダジイ	167			
116	イヌモミ	104	48	スダジイ	148	180	クワガサキ	143			
117	クワガサキ	58	49	クワガサキ	49	181	クワガサキ	23			
118	ホルトノキ	169	50	クワガサキ	36	182	スダジイ	38			
119	クワガサキ	59	51	クワガサキ	40	183	スダジイ	108			
120	スダジイ	473	52	クワガサキ	74	184	クワガサキ	118			
121	スダジイ	261	53	クワガサキ	193	185	クワガサキ	105			
122	クスノキ	127	54	クワガサキ	90	186	クワガサキ	64			
123	クワガサキ	64	55	クワガサキ	55	187	クワガサキ	90			
124	モッコク	134	56	スダジイ	209	188	スダジイ	216			
25	ウツギロガシ	190	157	クワガサキ	53	189	モッコク	70			
26	モッコク	128	158	クワガサキ	50	190	クワガサキ	113			
27	クワガサキ	210	159	ヒメユズノハ	27	191	クワガサキ	106			
28	モッコク	136	160	スダジイ	84	192	クワガサキ	127			



写真10 大径木 No.1 ヤマモモ・モッコク剪定工事後



写真 11 大径木 No. 2 スタジイ伐採工事後



写真 12 大径木 No. 4 タブノキ伐採工事後



写真 13 大径木 No. 24 スタジイ伐採工事後



写真 14 大径木 No. 34 スタジイ伐採工事後



写真 15 大径木 No. 48 イチイガシ剪定工事後



写真 16 大径木 No. 50 スタジイ剪定工事後



写真 17 大径木 No. 55 スタジイ剪定工事後



写真 18 大径木 No. 84 ホルトノキ伐採工事後



写真 19 大径木 No. 90 スダジイ（御神木）剪定工事後



写真 20 大径木 No. 93 ナギ剪定工事後



写真 21 大径木 No. 94 ウラジロガシ伐採工事後



写真 22 大径木 No. 98 クロガネモチ剪定工事後

7 市指定有形文化財『旧妙音庵薬師堂』の現況調査

- 1 調査年月日 令和5年4月27日、5月1日、
5月24日
- 2 文化財の名称 御前崎市指定有形文化財
「旧妙音庵薬師堂」
- 所在地 御前崎市下朝比奈 1739
- 調査者 静岡県文化財建造物監理士
村松浩次(村松建築設計事務所)



第16図 「旧妙音庵薬師堂」の位置(1/25,000)

調査に至る経緯

令和4年度の秋頃に、旧妙音庵薬師堂の所有者である旧妙音庵薬師堂保存会の会長から、このままだと雨漏りする可能性があるため、瓦屋に見積もりを依頼して、今後修繕工事を行いたいとの連絡があった。

御前崎市には、江戸時代に建造された木造平屋建宝形造棧瓦葺の御堂はこの旧妙音庵薬師堂しか残っておらず、天井部分の修繕を行う前にその保存状況の確認や立面図や天井伏図等の正確な図面を作成するための現況調査を実施する必要があるため、御前崎市内の静岡県文化財建造物監理士である村松浩次(村松建築設計事務所)に委託して、令和5年4月27日～5月24日にかけて、旧妙音庵薬師堂の現況調査を実施していただいた。その調査票は以下のとおりである。

伝統建築調査票

		*整理番号	
名称のよみ	きゅうみょうおんあんやくしどう	旧名称のよみ	みょうおんあんやくしどう
名称	旧妙音庵薬師堂	旧名称	妙音庵薬師堂
所在地	御前崎市下朝比奈 1739	旧所在地	小笠郡下朝比奈村
所有者名	旧妙音庵薬師堂保存会		
住所	御前崎市下朝比奈	〒番号	437-1605
管理者名	旧妙音庵薬師堂保存会 会長		
住所	御前崎市下朝比奈	〒番号	437-1605
用途・目的 (詳細に)	御堂 薬師三尊像(薬師如来像・日光菩薩像・月光菩薩像)と十二神将像を奉るための御堂として利用されている。		
指定・登録	市町村指定 登録		
	建造物 史跡 その他 ()		
設計者	不明	施工者	不明
竣工	年代: 西暦(1681)年 明治・大正・昭和(延宝9)年		
	根拠: 柱彫込文字 銘板 施工関連書類 その他 (伝承)		

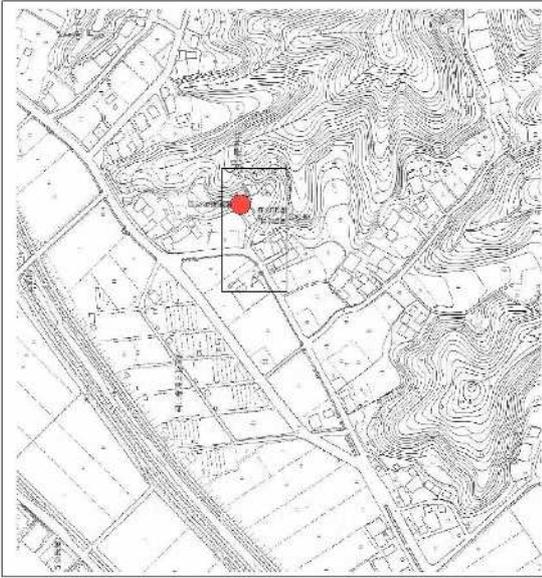
伝統建築調査票

沿革	<p>延宝9(1681)年に閑田院の末寺として宮ヶ谷寺藪に創建されたといわれている。</p> <p>明治35(1902)年に現在地に移転され薬師三尊・十二神将像を奉るための御堂として利用されている。</p> <p>昭和62年10月28日に浜岡町指定有形文化財に指定される。</p> <p>平成16年4月1日に浜岡町と御前崎町の合併により御前崎市となったため、御前崎市指定有形文化財に移行して指定される。</p> <p>平成18年10月26日に屋根の塔頂(宝珠)の漆喰が剥がれており、瓦下地の土が見えていることから、応急処置として宝珠袴の土盛・漆喰の補修が行われている。</p> <p>現在、この地には下朝比奈南公民館が建設され、地域活動の中心的場所となっている。</p>
修理内容	明治35(1902)年に現在地に移転された際に、御堂の屋根だけを改修したものと推定される。
構造	木造平屋建宝形造棧瓦葺
規模	階数(平屋) 平面規模 約(1.750)m×(2.310)m
特徴 (使用材料・細部意匠)	三方切目縁付で仏壇が付く。斗栱(組物)は隅菊斗付出三斗で中備は髷股である。虹梁や斗栱(組物)も絵様や彫刻などの工法から江戸時代末期の様相がうかがえる。
調査者所見	<p>保存状況など</p> <p>御堂は地元保存会によって日常的に清掃、供花がされ、建物周囲も砂利敷きや垣根で手厚い管理・保存がされているが、屋根葺きにズレや漆喰の剥がれが目立ってきており、木質部(丸柱や虹梁、木鼻、斗栱等)も風雨による浸食・経年劣化は避けられない。</p> <p>内部においても、水浸みによる材の変色や組子の脱落が見られる。</p>

調査日	令和5年4月27日(内外)、5月1日(外部)、5月24日(内外)
調査者氏名	静岡県文化材建造物監理士 村松浩次
所属・電話	村松建築設計事務所 0537-85-3931

分類	商業	旅館 料亭 店舗 醸造業 その他 ()
	公共	集会所 公民館 劇場 役場 学校 塾 その他 ()
	住居	一般住宅 別荘 民家 宿泊所 その他 ()
	宗教	寺院(本堂 庫裏 書院 客殿 寺務所 鐘楼 門 会館) 神社(本殿 幣殿 拝殿 社務所 舞殿 門 会館) キリスト教会 その他 (御堂)
	その他	茶室 道場 その他 ()

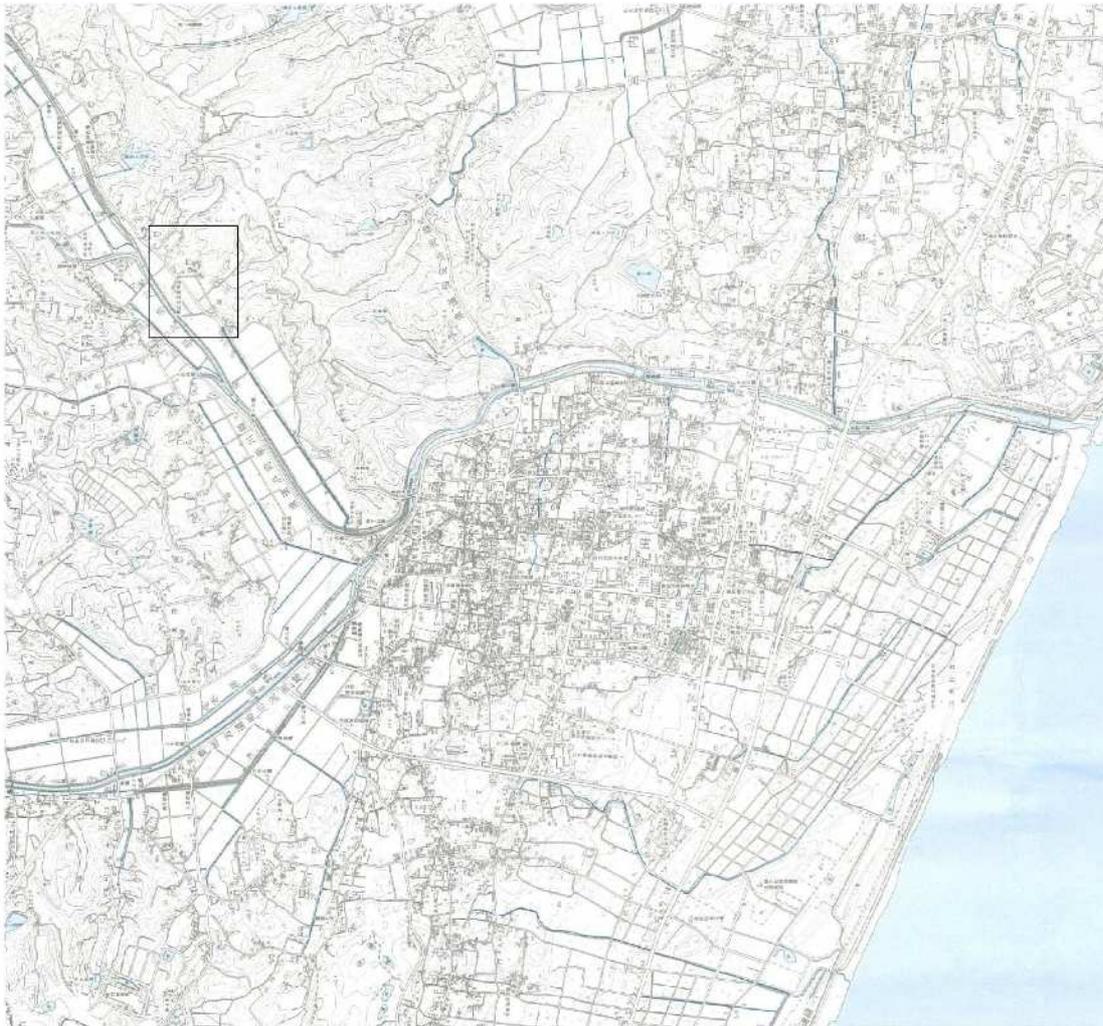
伝統建築調査票



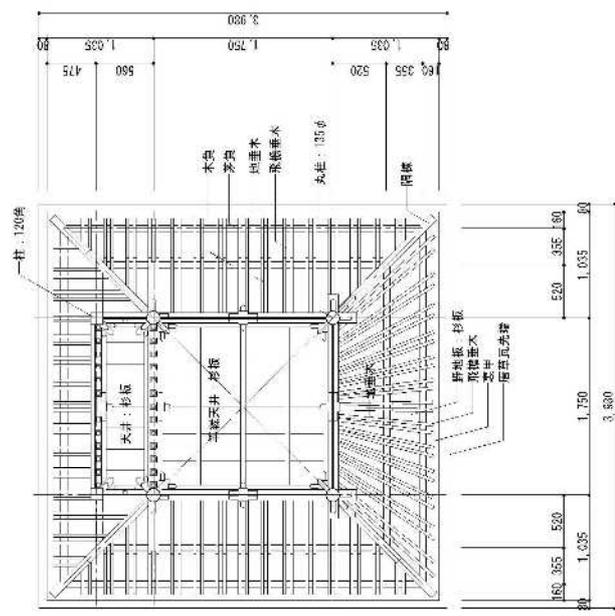
拡大位置図 1/5,000
枠内拡大は下図参照



配置図 1/1,000
御前崎市下郡比奈 1730 海公菜館 老人いこの家の敷地内



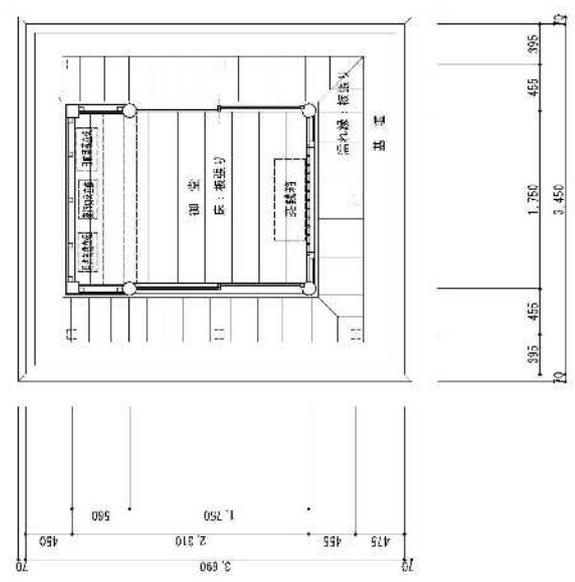
位置図 1/50,000
枠内拡大は右上図参照



天井伏図 1/50

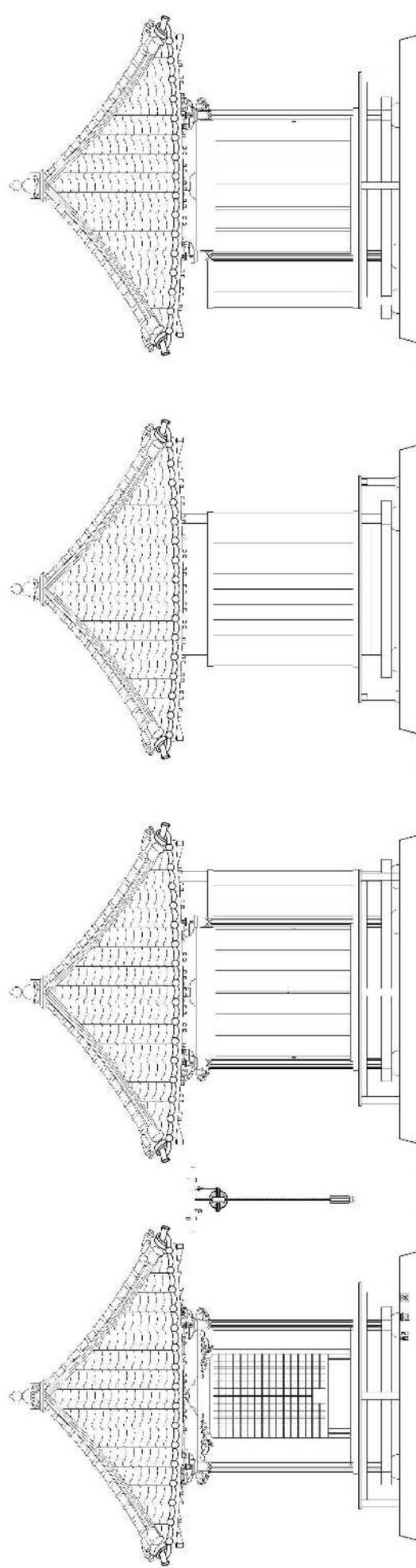
求積表

床面積	1.750 × 2.310	= 4.025
建築面積	(3.980 - 2.00) × (3.980 - 2.00)	= 3.924
		3.924 m ²



平面図 1/50





南(南西)立面图 1/50

東(東北)立面图 1/50

北(北西)立面图 1/50

西(西南)立面图 1/50

調査名称	御前崎市認定有形文化財「旧妙音庵薬師堂」現況調査	調査者	一盛建築士事務所	調査番号	A-03
調査日		調査員	一盛建築士事務所 代表取締役 村松 達次	調査場所	
調査時間		調査場所	〒437-012 静岡県御前崎市東町II-255-5 TEL:053(3)56-3831 FAX:053(3)56-3932	調査内容	
調査対象	立面图	縮尺	1/50	調査結果	



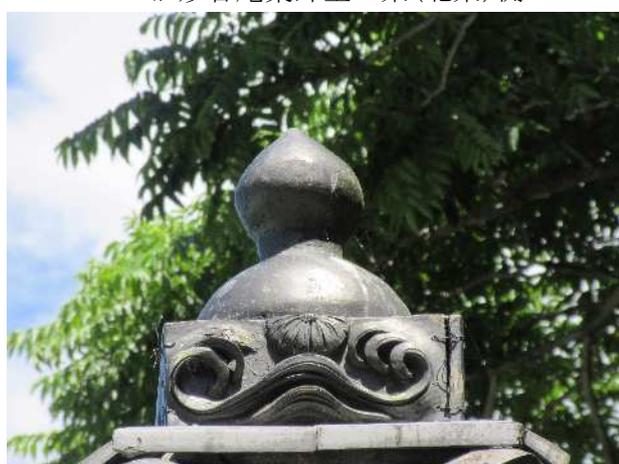
1 旧妙音庵薬師堂の南(南北)側



2 旧妙音庵薬師堂の東(北東)側



3 旧妙音庵薬師堂の北(北西)側



4 宝珠(正面)



5 宝珠(側面)



6 飾り垂木(たるき)

市指定有形文化財「旧妙音庵薬師堂」の現況写真

伝統建築調査票添付資料



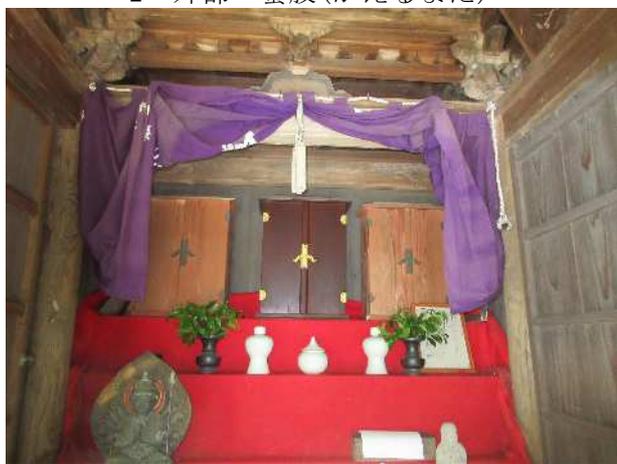
1 外部 桷組・木鼻



2 外部 龕股(かえるまた)



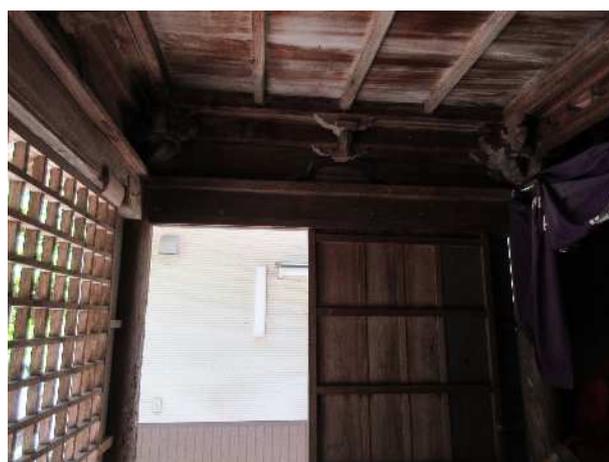
3 縁板組



4 内部 正面



5 内部 側面(東)



6 内部側面(西)

市指定有形文化財「旧妙音庵薬師堂」の現況写真

伝統建築調査票添付資料



1 内部 隅組子



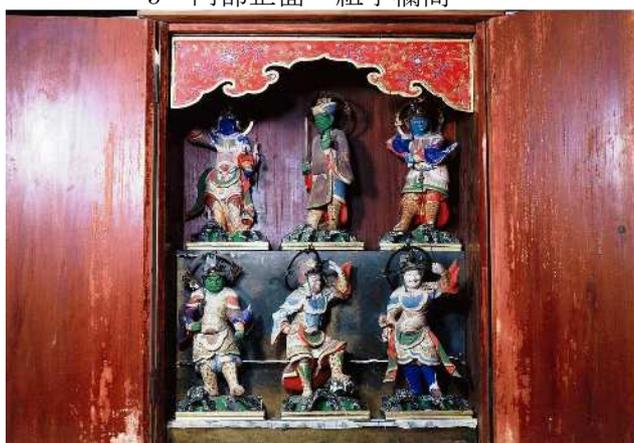
2 内部 本臺股



3 内部正面 組子欄間



4 参考：旧妙音庵薬師堂の薬師三尊像



5 参考：旧妙音庵薬師堂の十二神将像 1



6 参考：旧妙音庵薬師堂の十二神将像 2

市指定有形文化財「旧妙音庵薬師堂」の現況写真

伝統建築調査票添付資料

8 説明看板の撤去及び改修・設置工事

(1) 「萬葉歌碑」説明看板の撤去工事

- 1 施工年月日 令和5年4月11日
- 2 施工場所 御前崎市白羽
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

令和4年9月23日の台風15号の突風により、萬葉歌碑看板が損壊する被害があった。令和4年度中は、破損した看板を業者に預かってもらい、令和5年度に、破損した看板の処分と説明看板の基礎部分の撤去処分の工事を施工した。



第17図 萬葉歌碑の位置(1/25,000)



- 1 損壊した説明看板 2 看板の基礎撤去作業 3 説明看板の基礎撤去後の様子

写真23 「萬葉歌碑」説明看板撤去工事

(2) 「池宮神社本殿」説明看板改修工事

- 1 施工年月日 令和5年6月16日～20日
- 2 施工場所 御前崎市佐倉5162番地
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

経年劣化した「池宮神社本殿」説明看板のサンディングや木材保護塗装を行うと共に、盤面に近年指定された池宮神社の市有形文化財である「徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額」と「本居宣長像自賛(掛軸)」の説明を加えて改修を行った。



第18図 池宮神社本殿の位置(1/25,000)



1 改修前の説明看板



2 看板の盤面の撤去下した状態



3 改修工事完了後の説明看板



4 サンディングの様子



5 材保護塗装作業

池宮神社の御前崎市指定有形文化財

池宮神社本殿

平成 2年 5月 17日 指定

建築様式は、一間社で入母屋造平入流れ向背付である。屋根は、本繁垂木二科棟葺。母屋の柱は円柱で、向背柱几帳面取角柱、総檜の梁、本階五級の様式である。

池宮神社の社伝によると、江戸時代の宝暦年間(1751年~1763年)の再建と伝えられており、全体に保存状態が良く、江戸時代中期の特徴をよく残している注目すべき建物である。

徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額

平成 28年 11月 25日 指定

池宮神社拝殿内に掲げられている扁額で、「慶喜」の落款が押されており、江戸幕府第十五代将軍であった徳川慶喜が明治時代初期の1868年(慶応4年・明治元年)5月30日に社名「池宮神社」を揮毫し、奉納したと伝えられている。大妻丁寧に作られた堂々たる佳品であり、幕末から明治時代初期に活躍した徳川慶喜や関口隆吉などの人物やその時代の歴史を伝える品ともいえることから、御前崎市及びこの地方の文化史上たいへん貴重なものである。

本居宣長像自賛(掛軸)

令和 4年 8月 26日 指定

この掛軸は、池宮神社資料館に展示されている。留学四人の一人である本居宣長(1730~1801)が自身で描いた絵画に自賛を記した「本居宣長自賛自賛六十一歳像(国指定重要文化財)」の絵画を狩野派の画家が模写した掛け軸に、本居宣長自身が自ら賛を書いたもので、本居宣長やその門人など多くの国学者がこの地域の国学隆昌や文化活動に関与していたことを伝える品といえる。

御前崎市教育委員会

文化財

6 説明看板の盤面

写真 24 御前崎市指定有形文化財「池宮神社本殿」説明看板改修工事

9 文化財整理室所蔵民具台帳デジタル化業務委託

民具は有形民俗文化財とも呼ばれ、衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋、その他の物件など人々が日常生活の中で生み出し、継承してきた有形・無形の伝承で人々の生活の推移を示すものである。

これらの民具は御前崎市民のみならず、国民ひいては人類すべての共有財産でもあることから、これらを適切な環境のもとで管理・保存し、後の世に引き継いでいくと同時に、時間や地理的な制約等を超えて鑑賞できる状況を創り出していくことが必要である。しかし、これらの民具資料は、年月の経過とともに色や材質等の劣化や退色などは避けられない。

これを解決する手段としてデジタル化することにより、情報の損失なく半永久的に保存することができ、ネットワーク技術の活用によって文化財整理室に収蔵されている民具を多くの人々に閲覧してもらうことが可能となる。そのため、令和4年度から文化財整理室所蔵の民具台帳のデジタル化業務委託を実施することとなり、今年度は、令和5年11月1日から令和6年3月26日にかけて、株式会社イビソク静岡営業所に委託して、農業用の民具217点の民具台帳のデジタル化が完了した。



写真 25 文化財整理室所蔵民具台帳デジタル化業務委託実施民具「足踏み式脱穀機」



写真 26 文化財整理室所蔵民具台帳デジタル化
業務委託実施民具「扇風機（茶業用）」



写真 27 文化財整理室所蔵民具台帳デジタル化
業務委託実施民具「茶壺」

10 御前崎市文化財保護審議会

御前崎市文化財保護審議会は、平成 16 年 4 月 1 日に施行された「御前崎市文化財保護条例」及び「御前崎市文化財保護審議会条例」に基づき同年 4 月に設置された。同会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議し、これらの事項に関して教育委員会に答申することを目的とする。

(1) 委員の構成（任期：令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

役職名	氏 名	就任年月日	地 区
会 長	清 水 芳 治	R 4 . 4 . 1 (H24. 4. 1)	佐 倉
副会長	齋 藤 正 敏	R 4 . 4 . 1 (H21. 4. 1)	白 羽
委 員	橋 本 益 利	R 4 . 4 . 1 (H24. 4. 1)	比 木
委 員	河原崎 尚己知	R 4 . 4 . 1 (H30. 4. 1)	朝比奈
委 員	浅 井 義 幸	R 4 . 4 . 1 (R 2 . 4 . 1)	池新田
委 員	山 下 洋 子	R 4 . 4 . 1 (R 4 . 4 . 1)	高 松
委 員	松 井 秀 浩	R 4 . 4 . 1 (R 4 . 4 . 1)	御前崎
委 員	村 松 学	R 4 . 4 . 1 (R 4 . 4 . 1)	新 野

*就任年月日の（ ）は、旧町からの初就任年月日を示す

(2) 第 1 回文化財保護審議会

日 時 令和 5 年 7 月 31 日 13 : 30 ~ 15 : 30

場 所 御前崎市役所 3 階 302 会議室

議 事 ① 令和 4 年度主要文化財保護事業報告 ② 令和 5 年度主要文化財保護事業
③ その他（遠州国学の隆昌について資料紹介・しずおか遺産「秋葉信仰と街道」に御前
崎市の塩の道が記載されていない件について）

Ⅲ 文化財活用啓発活動

1 埋蔵文化財出張授業

埋蔵文化財出張授業は開催希望があった学校や地区センターなどに文化財保護担当職員等が出張して体験学習を中心としたカリキュラムを実施し、市民に埋蔵文化財を見て、触れて、体験してもらい、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。令和5年度は、埋蔵文化財出張授業の開催依頼があった御前崎市立第一小学校6年生と比木地区センター主催の比木歴史探訪ウォークの参加者を対象に開催した。

(1) 御前崎市立第一小学校における埋蔵文化財出張授業

1. 対象者 御前崎市立第一小学校6年生 102名(1組 34名、2組 32名、3組 36名)
2. 開催日時 令和5年6月16日(金) 10時20分～11時50分
3. 開催場所 御前崎市立第一小学校 御前崎市池新田1520
4. 授業内容 市の文化財を保護する仕事の講演(体育館)・勾玉づくり体験学習(図工室)・昔の火起こし体験学習(体育館前広場)

5. 授業の方法

社会教育課職員4名が第一小学校に出張して、御前崎市の文化財を保護する仕事についての講演、勾玉づくり体験、昔の火起こし体験の3講座を開催した。出張授業の方法としては、3クラスあることから、1つのクラスが3つの講座のどれか1つを30分ずつ授業を受け、終わったら別の講座に移動する方法で行った。



1 講演風景



2 勾玉づくり体験学習風景



3 昔の火起こし体験学習風景

写真 28 御前崎市立第一小学校埋蔵文化財出張授業風景

2 指定文化財出張授業

指定文化財出張授業は、御前崎市内の指定文化財の説明を市内の学校や地域団体を対象に学校や地区センター等に文化財保護担当職員等が出張して、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育てることを目的として開催した。令和5年度は、指定文化財出張授業の開催依頼があった御前崎小学校5年生・池新田地区在住の方々・第一小学校5年生を対象に開催した。

(1) 御前崎小学校5年生における指定文化財出張授業

1. 対象者 御前崎市立御前崎小学校 5年生（計31名）
2. 開催日時 令和5年6月19日(月) 13時25分から14時10分
3. 開催場所 御前崎市立御前崎小学校 5年生教室
4. 授業内容 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の講演
御前崎海岸環境についての講演
5. 授業の方法

御前崎小学校5年生は年間を通じてウミガメ保護活動に取り組んでおり、郷土に関する基本知識を学ぶことを目的として社会教育課の文化財担当職員1名とNPO法人 Earth Communication 代表 川口眞矢氏（以下、川口氏）で指定文化財出張授業を行った。

最初にウミガメ保護担当職員がウミガメ保護の概要について講演し、その後川口氏が、御前崎の海岸状況や環境問題について講演を行った。

本講演をもとに、子ども達はウミガメに関する学習を行い、御前崎小学校と同様にウミガメ保護活動に取り組んでいる県内外の学校とつながり、「全国ウミガメ会議」を開催、各自の活動の報告を行った。



1 ウミガメ保護活動についての講演風景



2 海岸環境についての講演風景

写真 29 御前崎小学校5年生における指定文化財出張授業写真

(2) 池新田地区在住の方々における指定文化財出張授業

1. 対象者 池新田地区在住者（計 15 名）
2. 開催日時 令和 5 年 7 月 22 日(土) 13 時 30 分から 15 時 50 分
3. 開催場所 池新田地区センター 2F 会議室
4. 授業内容 ウミガメのひみつを探そう
5. 授業の方法

社会教育委員から池新田地区の文化資源について多くの方々に知ってほしいという依頼があり、社会教育課の文化財担当職員 1 名とウミガメ保護監視員 1 名で指定文化財出張授業を実施した。本講演の開催同日に池新田地区センター祭りも実施していた。

最初にウミガメ保護担当職員がウミガメ保護の概要について講演し、その後保護監視員が、実体験をもとにした活動の説明を行った。

また体験ブースを出展し、ウミガメぬりえ体験を実施し、多くの子ども達が参加した。



1 ウミガメ保護活動についての講演風景

2 体験ブース（ウミガメぬりえ体験）

写真 30 池新田地区在住の方々における指定文化財出張授業写真

(3) 第一小学校における指定文化財出張授業

1. 対象者 御前崎市立第一小学校 5 年生（計 105 名）
2. 開催日時 令和 5 年 9 月 14 日(木) 8 時 10 分から 11 時 55 分
3. 開催場所 御前崎地区センター 2F 会議室、ウミガメふ化場、久々生海岸
4. 授業内容 チャレすか環境学習会
5. 授業の方法

第一小学校 5 年生は年間を通じて環境問題に関して学習しており、市内の文化資源であるウミガメの生態について知るとともに、海岸環境の現状を身をもって学ぶことを目的に、「チャレすか環境学習会」と称して、講演を行った。講演内容については、社会教育課の文化財担当職員 1 名によるウミガメの生態に関する説明とウミガメ保護監視員 1 名による保護活動の様子やふ化場の説明を行った。また市内海岸環境については川口氏を講師に久々生海岸を訪れ、体験的な学習を行った。



1 ウミガメ保護活動についての講演風景①



2 ウミガメ保護活動についての講演風景②



3 ウミガメふ化場での説明風景



4 久々生海岸での講演風景

写真 31 第一小学校における指定文化財出張授業

3 桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレットの改訂

静岡県指定名勝「桜ヶ池」や市指定有形文化財「徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額」をはじめ、県指定無形民俗文化財「桜ヶ池のお櫃納め」、市指定有形文化財「池宮神社本殿」などの県指定や市指定の文化財が数多くある。

令和4年度に池宮神社資料館にある本居宣長像自賛(掛軸)が新たに指定されたことから、平成29年度に作成したパンフレットの改訂版を3,000部作成し、池宮神社や市内の公共施設等に配架した。



写真 32 桜ヶ池・池宮神社
パンフレットの表紙

4 御前崎市文化財講座

(1) 御前崎地区文化財講座の概要

御前崎市内には、古墳、横穴、中世城館や墓地などの埋蔵文化財や建造物、彫刻、絵画、史跡名勝天然記念物などの指定文化財が数多くある。これらの御前崎市内の文化財を活用し、市民の文化財についての理解を深めるため「御前崎市文化財講座」を平成30年度から開設している。令和5度は、池新田地区と高松地区の文化財講座を池新田地区センターと高松地区センターとの共催事業として開催した。

(2) 御前崎地区文化財講座の内容

回数	開催日時	参加人数	テーマ	講師
第1回	令和5年10月14日(土) 13時～16時40分	22名	第1部 「高松の中世埋蔵銭と古代遺跡」	御前崎市教育委員会 文化財担当職員 村本薫
			第2部 「江戸時代の池新田」 一本間家文書を中心に	掛川市文化財保護審議会委員 松本稔章
第2回	令和5年10月21日(土) 13時～17時30分	10名	池新田地区・高松地区の文化財巡りの案内及び説明	御前崎市教育委員会 文化財担当職員 村本薫
			丸尾記念館の施設概要及び展示の説明	御前崎市会計年度任用職員 丸尾記念館管理 藤田雄一
			旧遠江射場観光的所の概要及び整備についての説明	ふるさとの自然守り隊 代表 山下洋子
			高松神社の概要及び文化財の説明	高松神社 宮司 中山貞雄



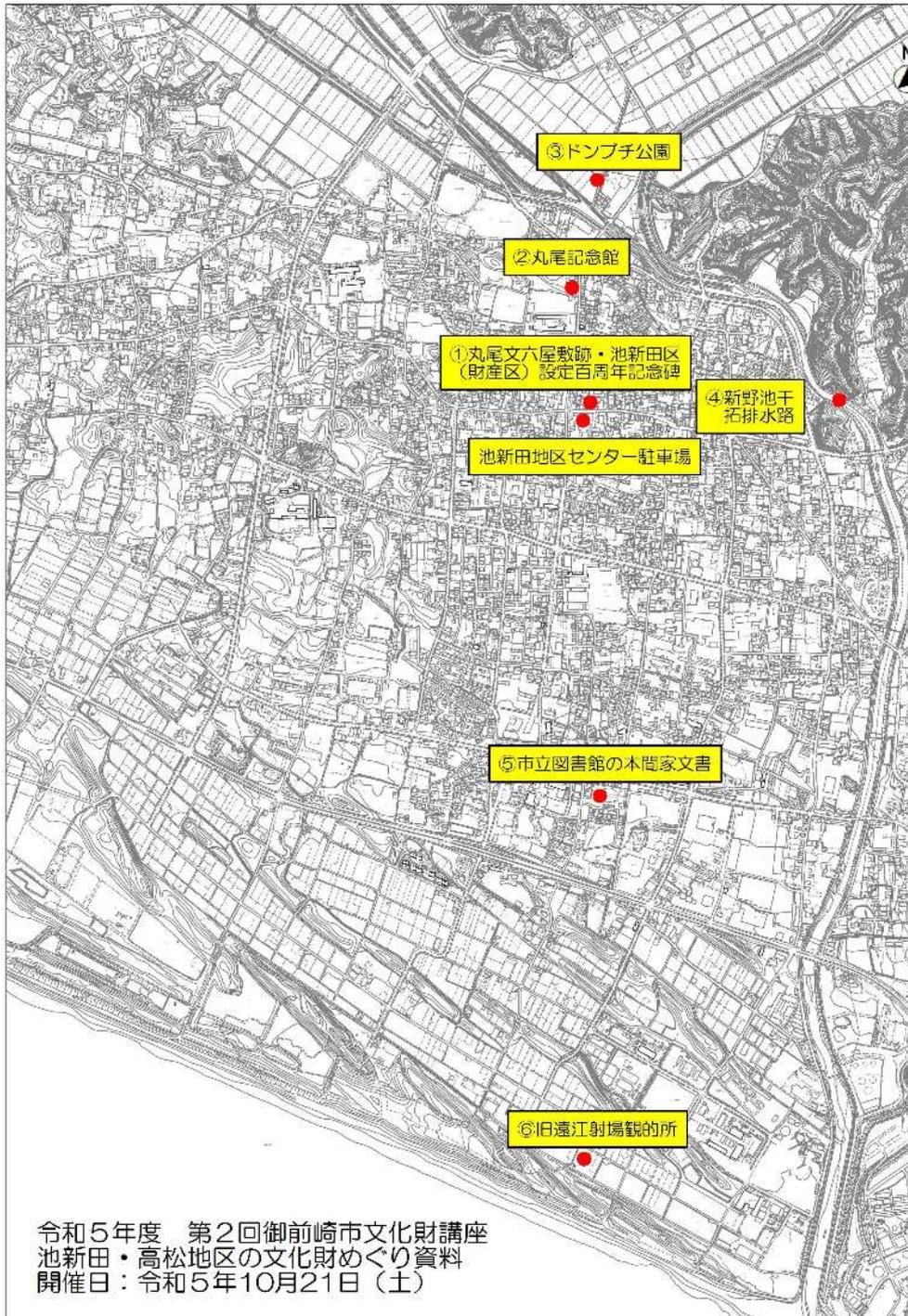
1 村本薫講師による第1部の講演風景



2 松本稔章講師による第2部の講演風景

(3) 池新田・高松地区の文化財巡りコース

池新田地区センター駐車場集合・出発→丸尾文六屋敷跡→池新田区(財産区)設定百周年記念碑→丸尾記念館→ドンブリ公園→新野池干拓排水路→市立図書館の本間家文書→旧遠江射場観的所→南谷南横穴群→高松神社の文化財→池新田地区センター駐車場到着・解散



第19図 第2回文化財講座「池新田地区文化財めぐり」見学箇所位置図



第20図 第2回文化財講座「高松地区文化財めぐり」見学箇所位置図



写真34 第2回文化財講座の丸尾文六屋敷跡見学風景

令和5年度 御前崎市文化財講座

池新田・高松地区の歴史や文化財を語る講座を開催します。
この機会に郷土の歴史や自然を学んでみませんか！

第1回 (会場：池新田地区センター 大会議室)
所在地：御前崎市池新田3262番地
演題：『高松の中世埋蔵銭と古代遺跡』
講師：御前崎市教育委員会文化財担当職員
演題：『江戸時代の池新田 本間家文書を中心に』
講師：松本稔章氏(掛川市文化財保護審議会委員)
令和5年10月14日(土) 午後1時00分～午後4時40分

第2回 (集合場所：池新田地区センター駐車場)
所在地：御前崎市池新田3262番地
『池新田・高松地区の文化財めぐり』
見学場所：丸尾記念館、ドンブリ公園、高松神社ほか
令和5年10月21日(土) 午後1時00分～午後5時30分

R5後期版の生涯学習ガイドブック掲載の申込カード回収
又は右記のQRコード、電話でお申込みください。

再募集期間：令和5年9月11日～

申込先着45名様で定員となります。対象：御前崎市在住の方
☎0537-29-8735 御前崎市教育委員会社会教育課
受付時間：午前8時15分～午後5時(土・日・祝日を除く)
主催：御前崎市教育委員会 共催：池新田・高松地区センター

写真35 文化財講座チラシ



1 池新田区(財産区)設定百周年記念碑見学風景



2 丸尾記念館の見学風景



3 ドンブチ公園の見学風景



4 市立図書館の本間家文書の見学風景



5 旧遠江射場観的所の見学風景



6 高松神社の見学風景

写真 36 第2回文化財講座の見学風景

(4) ウミガメ保護活動見学会の開催

御前崎のウミガメ及びその産卵地についての市内外周知及びウミガメ保護活動の発信と保護意識の啓発を目的に、既存事業であるウミガメ産卵観察会を再考し、新たにウミガメ保護活動見学会を実施した。

市全体としてウミガメの保護活動を行っていることは知っているが、本事業を通じて、実際保護監視員がどのような業務を行っているのか、どんな海岸状況のもとでウミガメは産卵するのか等体験的な学習事業を行うことができた。

①場所 下岬海岸、御前崎市ウミガメふ化場

②日程及び参加者数

日程	参加者数
6月17日(土)	18名
6月18日(日)	19名
6月24日(土)	24名
6月25日(日)	34名

 <p>1 巡視活動</p>	 <p>2 ふ化場見学</p>
--	--

写真 37 ウミガメ保護活動見学会の開催

(5) カレッタギャラリーおまえざき 2023 の開催

国指定天然記念物である「御前崎のウミガメとその産卵地」の啓発事業として、新たに「カレッタギャラリーおまえざき 2023」を実施した。昨年度及び今年度のウミガメ保護活動や関連事業の様子を記録した写真の展示を実施するとともに、体験ブースを設置し、来館者を対象にウミガメぬりえ体験も実施した。また、アスパル会場においては、御前崎小学校5年生が授業の一環で作成した海岸漂着ゴミに関する調査結果や創作物（ポスター・アート作品）や市内幼保園児が作成した色とりどりのぬりえ、市内で活動するアーティストの作品の展示も行った。図書館の協力もあり、ウミガメや海岸環境に関連する書籍のブースを設置した。

【アスパル会場】

開催日時 令和5年4月18日(火)～5月9日(火)
 開催場所 御前崎市立図書館 アスパル 2F ギャラリー



写真 38 カレッタギャラリーチラシ

【なぶら館会場】

開会日時 令和5年7月28日（金）～8月27日（日）

開催場所 御前崎市観光物産会館 なぶら館



1 ウミガメぬりえ体験ブース



2 御前崎小学校 展示



3 市内アーティスト 作品展示



4 ウミガメ関連書籍ブース

写真 39 カレッタギャラリーおまえざき 2023

5 市内イベントにおける文化財ブースの開設

(1) 御前崎市大産業まつりにおける埋蔵文化財体験学習

① 日 時 令和5年11月26日(日)

② 場 所 御前崎市役所西側通路

教育委員会社会教育課では、身近にある文化財についての理解と愛護精神の高揚を図るとともに、郷土の誇りを育むことを目的として、御前崎市大産業まつりにおいて「原始工房 縄文屋」という名称で昔の火起こし体験、勾玉づくり体験ができるコーナーを開設した。

今年度は11月26日(日)に勾玉づくりと昔の火起こしの体験コーナーを開催し、勾玉づくり体験が45名、昔の火起こし体験が57名の合計102名の子供や親子が参加した。

また、御前埼灯台関係または市内の文化財関係パンフレットの配布も実施した。



1 原始工房縄文屋ブース出店の様子



2 受付の様子



3 勾玉づくり体験の様子



4 昔の火起こし体験の様子

写真 40 御前崎市大産業まつり「原始工房 縄文屋」ブース

(2) 御前崎港寄港 客船「ウェステルダム」おもてなしイベントでの「灯台パネル展」の開催

1 目的

おもてなしイベントを開催することにより、御前崎市・牧之原市の観光施設及び地域特産品を知っていただき、乗客がクルーズ船を下船後にも、この地域の良さを情報発信し、また訪れてみたいと思っただけけるような仕掛けを実施する。

乗客のクルーズ旅行の楽しい思い出づくりに貢献し、港の賑わいづくりの創出、観光振興及び地域の活性化を図り、次の寄港につなげることを目的とする。

2 会場

御前崎港西ふ頭2号岸壁

3 開催日時

令和5年4月11日(火) 9:00~15:00

4 実施形態

主催 御前崎港客船誘致協議会

5 展示内容

御前崎灯台の文化財的価値を知ってもらい、御前崎灯台に訪れてもらうため、国指定重要文化財の「御前崎灯台」と「旧官舎」、国重要文化財附指定の「旧回転機械分銅自動巻揚装置」の説明パネルや指定書(写)を展示及びパンフレット・チラシ(英語版)の配架を実施した。

展示パネル一覧(合計9枚)

- ① 御前崎灯台・清水灯台国重要文化財指定記念
「国指定重要文化財の現役灯台パネル展」パネル
 - ・文化財・重要文化財解説パネル
 - ・御前崎灯台解説パネル
 - ・御前崎灯台説明文(英語)パネル
 - ・清水灯台パネル
 - ・附「旧回転機械分銅自動巻揚装置」の概要パネル
 - ・附「旧回転機械分銅自動巻揚装置」年表パネル
 - ・文化財に登録されている様々な灯台解説パネル
 - ・指定書(写)
- ② 御前崎灯台関係パンフレット・チラシ等の配架一覧
 - ・国指定重要文化財「御前崎灯台」パンフレット
 - ・御前崎灯台説明文(英語)チラシほか



写真 41 各ブースの設置風景



写真 42 御前崎灯台 PR ブースの設置風景



写真 43 御前崎灯台展示パネルの設置風景



写真 44 来場者の展示パネル見学風景

6 写真資料の利用

(1) 株式会社フェイスによる写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
『丸尾文六晩年』の写真データ提供	1枚	御前崎つゆひかり新茶フェア 2023 告知用チラシ裏面 丸尾 文六紹介コーナーへの掲載	令和5年4月3日
『丸尾文六46』の写真データ提供	1枚	御前崎つゆひかり新茶フェア 2023 茶摘みイベント「茶園ピク ニック」内での紹介パネルへの 掲載	令和5年4月3日
『丸尾文六』の写真データ提供	1枚	やまま満寿多園による荒廃茶園 改植事業「chatto (チャット)」 の告知ポスターへの掲載	令和6年2月9日

(2) フォト御前崎による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
ウミガメ保護活動写真	16枚	文化協会フォト御前崎写真展での展示	令和5年10月16日

(3) 御前崎市農林水産課による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
いもじいさんの碑	3枚	御前崎市のサツマイモPRとして、芋じい さんのエピソードを紹介するために、首都 圏で発刊されている定期購読誌、『熟年生活 応援マガジン はいから』に掲載。	令和5年12月11日

(4) 御前崎市教育委員会学校教育課による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
高松幼稚園の写真	1枚	高松幼稚園・白羽幼稚園の閉園記念として 作成するリーフレット（保護者・地域・来 賓に配布）に園あゆみとして、園沿革と共 に写真を掲載。	令和6年3月1日
白羽幼稚園の写真	2枚		

7 歴史民俗資料等の貸出

(1) 中部電力株式会社浜岡原子力発電所『浜岡原子力館郷土展示ホール』貸出資料一覧

貸出資料名	点数	出土地及び使用地	貸出期間
陶器(四耳壺)	1点	比木殿ノ山	令和5年4月1日～令和6年3月31日
須恵器(長頸壺)	1点	石田横穴群	令和5年4月1日～令和6年3月31日
須恵器(平瓶)	1点	実際寺横穴群	令和5年4月1日～令和6年3月31日
風呂鍬	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
麦蒔き機	1点	合戸	令和5年4月1日～令和6年3月31日
水田除草機	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
唐箕	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
背負子	1点	新野	令和5年4月1日～令和6年3月31日
蓑	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
菅笠	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
藁草履	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
消防用手押消火ポンプ	1点	佐倉	令和5年4月1日～令和6年3月31日
竜吐水師	1点	佐倉	令和5年4月1日～令和6年3月31日
消防団法被	1点	佐倉	令和5年4月1日～令和6年3月31日
纏	1点	佐倉	令和5年4月1日～令和6年3月31日
ランプ	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
電話機	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
蓄音機	1点		令和5年4月1日～令和6年3月31日
合計	18点		

(2) 御前崎市立浜岡北小学校への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	利用目的	貸出期間
○御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附：マーベル・ワレンの切符含む)	1点	マーベルワレンの日・ 全校参観会	令和5年4月14日～ 令和5年4月21日
○御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附：マーベル・ワレンの切符含む)	1点	研究のための来校者 への提示	令和5年10月27日～ 令和5年11月1日
御前崎市指定有形文化財 旧朝比奈小学校の青い目の人形(附： マーベル・ワレンの切符含む)	1点	修了式・卒業式	令和6年3月15日～ 令和6年3月19日

8 歴史民俗資料等の特別利用許可

(1) 個人による特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
・富士商会第壱回決算報告 (明治22年3月～12月) ・明治28年度第貳回決算報告 ・明治36年度営業報告書 ・明治37年度営業報告書 ・明治10年度第15回営業報告	5点	茶業史研究の一環	令和5年5月8日

(2) 個人による特別利用

資料名	数量	利用目的	利用許可日
「明治14年 兼受社 第3回報告」 小野芳郎家文書	1点	ロンドンの葛布の壁紙が産地について実証するための掛川から横浜に搬出された積荷についての調査研究	令和5年11月16日

IV 指定文化財一覧表

1 国指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者	指定年月日
1	天然記念物	白羽の風蝕礫産地	白羽6621-246他	御前崎市他	S18. 8. 24
2	天然記念物	御前崎のウミガメ及びその産卵地	御前崎海岸	—	S55. 3. 6
3	重要文化財	御前崎灯台(灯台1基・旧官舎1棟)・ 附：旧回転機械分銅自動巻揚装置)	御前崎1581-1	海上保安庁・ 御前崎市(附)	R3. 8. 2

2 県指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者	指定年月日
1	名勝	桜ヶ池	佐倉5162	池宮神社	S29. 1. 30 第34号
2	彫刻	木造十一面観音立像(1軀)	御前崎4434	海福寺	S31. 10. 17 第118号
3	無形民俗文化財	桜ヶ池のお櫃納め	佐倉5162	お櫃納め保存会	S61. 12. 5 第538号
4	天然記念物	比木賀茂神社の社叢	比木2815	賀茂神社	H9. 2. 17 第509号

3 市指定文化財

No.	種 別	指定名称	所 在 地	所有者	指定年月日
1	建造物	白羽神社本殿(入母屋造)	白羽3511	白羽神社	S44. 6. 25 第1号
2	建造物	駒形神社本殿(入母屋造)	御前崎937-1	駒形神社	S44. 6. 25 第2号
3	史跡	星の糞遺跡(823㎡)	白羽2179-1他	個人	S44. 6. 25 第3号
4	古文書	武田家朱印状(3通)	白羽3511	白羽神社	S45. 10. 15 第4号
5	彫刻	地藏菩薩尊像(青銅製立像1軀)	白羽3105-1	増船寺	S45. 10. 15 第5号
6	天然記念物	いちょうの木(1本)	御前崎4434	海福寺	S48. 10. 18 第6号
7	彫刻	日光菩薩立像(1軀)・月光菩薩立像(1軀) 薬師如来立像(1軀)・十二神将立像(12軀)	白羽963	紅雲寺	S49. 9. 19 第7号
8	歴史資料	いもじいさんの碑(顕彰碑・宝篋印塔各1基)	御前崎4434	海福寺	S49. 9. 19 第8号
9	古文書	中山家文書(39通)	門屋952-1	個人	S52. 2. 28 第9号
10	古文書	本間家文書(15通)	池新田5560	個人	S52. 2. 28 第10号
11	史跡	薩田ヶ谷横穴群	宮内1047-18	個人	S53. 9. 4 第11号
12	建造物	旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)	下朝比奈1739	旧妙音庵薬師堂保存会	S62. 10. 28 第12号
13	建造物	池宮神社本殿	佐倉5162	池宮神社	H2. 5. 17 第13号
14	天然記念物	イスノキ群生林(十数本)	白羽3454-6	個人	H3. 11. 20 第14号
15	絵画	千羽の鶴(1点)	御前崎937-1	駒形神社	H6. 1. 31 第16号
16	天然記念物	マキの木(1本)	白羽3511	白羽神社	H6. 1. 31 第17号
17	彫刻	玄翁堂の木造十一面観音菩薩像 (立像1軀・座像1軀)	上朝比奈1030-2	玄翁堂の木造十一面観音菩薩保存会	H10. 3. 27 第18号
18	彫刻	大日寺の大日如来座像(1軀)	下朝比奈605	大日寺大日如来保存会	H10. 3. 27 第19号
19	古文書	水野家文書(1通)	池新田5560	個人	H10. 3. 27 第20号
20	歴史資料	御用提灯と収納箱(4点)	池新田5560	御前崎市	H11. 12. 1 第21号
21	有形民俗文化財	石造十一面観音菩薩像(附:石造三十三観音像)	御前崎5067-1	増船寺	H17. 1. 1 第22号
22	建造物	高松神社本殿(入母屋造)	門屋2068	高松神社	H19. 9. 25 第23号
23	歴史資料	旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附:マーベル・ワレンの切符)	池新田5560	御前崎市教育委員会	H20. 12. 19 (附:H26. 5. 26) 第24号
24	彫刻	岩地正八幡神社神像	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第25号
25	建造物	岩地正八幡神社本殿	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第26号
26	書跡	徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額	佐倉5162	池宮神社	H28. 11. 25 第27号
27	天然記念物	旧朝比奈小学校の黒松	下朝比奈2681-2	御前崎市	R3. 3. 24 第28号
28	書跡	本居宣長像自賛(掛軸)	佐倉5162	池宮神社	R4. 8. 26 第29号

V 文化財関係刊行図書一覧

1 旧御前崎町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和45年度	『-郷土のかおり-年中行事と習俗』	平成13年度	『おまえぎきの文化財』
昭和61年度	『ふるさとの岬』	—	アカウミガメ上陸・産卵・孵化状況報告書
平成8年度	静岡県御前崎町『星の糞遺跡発掘調査報告書』		

2 旧浜岡町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和60年度	『石田・蓮前支群発掘調査報告書』	平成11年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅰ』
昭和63年度	『門屋横穴群石田2号横穴・新井平横穴群発掘調査報告書』	平成11年度	『目で見る 浜岡の文化財』
昭和63年度	『浜岡町文化財』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第7集『比木城山遺跡』
平成8年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第4集『中尾殿之谷横穴群』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第8集『南谷遺跡 遺物編Ⅰ(木製品図版編)』
平成9年度	『郷土の歴史と沿革 浜岡人物誌 池新田・高松編』	平成12年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅱ』
平成9年度	『静岡県指定天然記念物 比木賀茂神社社叢 比木自然公園自然生態系基本調査報告書』	平成13年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第9集『南谷遺跡 遺物編2(木製品本文・石器・骨角製品)』
平成9年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第5集『南谷横穴群』	平成13年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅲ』
平成10年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第6集『山田遺跡』	平成14年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第10集『南谷遺跡 遺構編』
平成10年度	浜岡町佐倉地区民俗調査報告書『「桜ヶ池のお櫃納め」と佐倉の民俗』	平成15年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第11集『南谷遺跡 遺物編Ⅲ(土器・土製品)』

3 御前崎町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成2年度	『御前崎町史 資料編』	平成4年度	『御前崎町史 写真集』
平成2年度	『御前崎町史 資料編(近世一)』	平成8年度	『御前崎町史(通史編)』

4 浜岡町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和50年度	『浜岡町史』	平成15年度	『桜井家(旧比木村川崎谷)文書』—近世—
平成12年度	『浜岡町所在文書目録 第1集』	平成16年度	浜岡町史別冊四『証言集 町民が語る近現代の歩み』
平成12年度	浜岡町史別冊一『萩原佐吉 茶業見聞録・新道開鑿日記』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(考古)』
平成13年度	浜岡町史別冊二『佐倉村誌・朝比奈村郷土誌』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(古代・中世)』
平成14年度	浜岡町史別冊三『新野村誌・池新田村誌』	平成17年度	浜岡町史別冊五『中世埋蔵銭と古墳時代の横穴・古墳』
平成15年度	『風紋—浜岡町・閉町記念写真集—』	平成22年度	『浜岡町史 通史編』
平成15年度	『浜岡町史 民俗編』		

5 御前崎市文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成16年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第1集 『比木城山遺跡Ⅱ』	平成23年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅶ』平成22年度版
平成16年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅰ』平成16年度版	平成24年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅷ』平成23年度版
平成17年度	御前崎市文化財講座企画展第1弾 『新野川流域の文化財』	平成25年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅸ』平成24年度版
平成17年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅱ』平成17年度版	平成25年度	御前崎市の指定文化財
平成18年度	御前崎市文化財講座企画展第2弾 『朝比奈川流域と池新田の文化財』	平成26年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅹ』平成25年度版
平成18年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第2集 『勝佐墳墓群』	平成26年度	御前崎指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」パンフレット
平成19年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅲ』平成18年度版	平成27年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅩⅠ』平成26年度版
平成19年度	御前崎市文化財講座企画展第3弾 『箴川流域の文化財』	平成28年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅩⅡ』平成27年度版
平成20年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅳ』平成19年度版	平成29年度	桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレット
平成20年度	御前崎市文化財講座企画展第4弾 『大原川・中西川流域と御前崎の文化財』	令和元年度	高天神城跡をめぐる武田系城砦群 —御前崎市新野・朝比奈・比木地域とその周辺—
平成21年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅴ』平成20年度版	令和3年度	国指定重要文化財 御前崎灯台パンフレット
平成21年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第3集 『山田ヶ谷北横穴群』	令和5年度	桜ヶ池・池宮神社指定文化財パンフレット（改訂版）
平成22年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅵ』平成21年度版		

静岡県御前崎市
文化財年報XIX

令和5年3月31日

編集 静岡県御前崎市教育委員会
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585
TEL 0537-29-8735
FAX 0537-29-8737